

歯磨はスーパー時代

フローリン
(配合)

配合の

新歯磨!!

- フローリン(配合)は歯が酸にとかされぬよう歯の表面を象牙のまじりに硬く美しくして、ムシ歯を防ぐ新しいムシ歯予防剤です
- 色はさわやかなブルーです
- フレンチ・ハッカをたっぷりときかせたスナキ味と香りです。あとのお食事がおいしくなる爽快さです

歯みがきは おやすみ前にもう一度!

スーパー
ライオン



高遠なる理想の礎石たれ

日本ハンドボール協会

会長 式場隆三郎



昭和十二年、日本にハンドボール協会が出来てスポーツとしてのハンドボールが我国に芽生えてから二十二年経った。しかし「ハンドボール」と云う競技を知らない人はまだまだ多いし、「ハンドボール」と云う競技の名前さえ知らない人もいる。二十二年の時日を刻みながら一般に対する普及は、最近になってようやく軌道に乗り始めたとは云え認識の低さ、少さは他の

スポーツ競技に較べるべくもない。プレイヤーの増加も必要だが、ハンドボールを見、ハンドボールを楽しむフアンの増加を心がけなければいけない時機が来ていると思う。そうした時に雑誌「ハンドボール」が生れることは誠にタイムリーであり、この雑誌を通じてハンドボールのよさを大いに普及して貰いたい。数年前、私は渡欧した際にハンドボールの世界選手権を見たが、日本における野球と同じように大衆の関心が大きく、バスを連ねて観戦に来るフアンの行列は壮観だった。

日本では競技層の充実は一応の段階に達したと云う見方もあるが、私は、現在、中学から始めているハンドボールの紹介と指導を小学校の高学年からにすることも可能だと思ふし、また、是非とも育成しなければならぬと思つているのが実業団ハンドボールである。この二つが実現すれば今とは比べものにならない厚い競技層と選手層を布くことになるし、女子のスポーツとしても適していると云うこと

を普及させ、十六ミリの紹介フィルムなどを作つて積極的な大衆化も計ろうと考えている。しかし手つとりはやく全国の人にハンドボールを判つてもらふには何よりも国際試合を行うことが一番だ。今月中旬来日するルーマニアチームは、去る三十一年の西ドイツに次ぐ、戦後二回目の国際試合だが、西ドイツの時にも我國のハンドボール界に多大な足跡と刺激を与えてくれたがそれ以上のものを期待している。特に今回は一九六〇年のオリンピック東京大会の正式種目に採り上げられて日本のハンドボールが内外から注目をあびている時だけに種々な意味で重大だ。また、外国チームを招へいするばかりではなく、日本チームが海外に出る機会も多いに作りたいし、韓国、中共あたりしかやつていないアジアのハンドボール界もこれらの国と協力してフィリピンなど各国に呼びかけて充実させたい希望も抱いている。この間、沖繩に行つた時、沖繩でもハンドボールをやりたいと云う機運が高まつていることを知り大変結構なことだと思つた。ともあれ、国際試合を年中行事の一つとして定期的に開けるよう、国際間の折しようもこれから大いに推進しようと考えている。

最後に、日本のハンドボール界と、日本のハンドボールプレイヤーに望みたいのは、妙な劣等感を失くすべきだと云うことである。日本のハンドボール界には新興スポーツだと云うことで、あまり人口にかいしやされていないと云うことで、プレイヤー自身もハンドボールをしていると云うことに遠慮勝ちだったのだがこのような考えは根底から取去らねばいけない。

技術的にも日本チームのレベルは充分世界の検舞台に立つてやつていけるものだし、特に近年の技術の向上は驚異的ですからある。日本のハンド・ボール界も創立二十二年にしてようやく草成期を脱した。しかし私の理想とする日本のハンドボール界はまだまだ遠く高い所にある。その一つの礎石にこの雑誌「ハンドボール」がなつてくれれば有難い。

待望のルーマニア・チーム来日

対全早大戦を皮切りに 全国各地で十試合

対ルーマニア国際試合全日程

- 6月10日(金) 羽田着
- 6月12日(日) 対全早稲田大学
(東京小石川球技場)
- 6月14日(火) 対全北海道
(函館市千代ヶ岱野球場)
- 6月16日(木) 対全仙台
(宮城県総合競技場)
- 6月18日(土) 対全中央大学
(東京小石川球技場)
- 6月19日(日) 対全日本体育大
(東京小石川球技場)
- 6月22日(水) 対全群馬
(桐生市営野球場)
- 6月25日(土) 対全愛知
(瑞穂競技場)
- 6月26日(日) 対全関西学院大学
(西宮球技場)
- 7月2日(土) 対全神奈川
(三ツ沢競技場)
- 7月3日(日) 対全芝浦工業大学
(東京小石川球技場)
- 7月5日(火) 離日

★各試合とも試合開始時間未定
☆一行は国際審判員を含む20名(予定)

主催・日本ハンドボール協会

国際試合を前にして

高島理事長と一問一答

— 待望のルーマニア来日で御多忙でしょう。今度の来日交渉その他はスムーズに決まったのですか。

— 『当初、フランス選手権チーム「ステラー軍」を呼ぶつもりでいたのが不可能となり

正式にルーマニア招へいの活動を始めたのは昨年暮から年頭にかけてで、しかも、ルー

マニアからの承諾の報が延着したりして随分ヤキモキしましたが、どうにか本決りとなり実の所ホツとしているところです。』

— 今度の来日チームの実力と一行の顔ぶれは?

『去年の六月オーストリアのウィーンで開かれた世界選手権の決勝トーナメントで優勝戦まで勝残り、東ドイツ、西ドイツ合体の現在世界最強と思れる全ドイツと対戦し、前半6-6、後半5-8と云う大接戦をやって惜しくも二位となったと云う戦績を見てはその実力は高く評価しなければならぬと思います。おそらく、先年来日した西ドイツオールスターズに優るとも劣らない好チームだと期待してよいと思います。一行のメンバーは役員、選手併せて二十名と云うことだけ決まっております、その中に役員として国際公認審判員一名を加えて欲しいと云う日本側の要望を伝えてあります。』

— 今、お話のあった去年の世界選手権にはどの位のチーム(国)が参加したのですか。

『決勝トーナメントには八ヶ国が出場していますが、その前に予選をやっており、はっきり判りませんが大体十五二十ヶ国が参加していたのではないかと想っています。この大会には日本も参加する心算で準備を進めていながら、諸々の事情で取止めになってしまったのですが……』

— 今度の日程を見ると「全日本選抜軍」がありませんね。

『協会の考え方としては、今は個々のチームの強化に全力を注ぐべき段階であり、またなるべく多くの選手に国際試合の経験を

『去年の六月オーストリアのウィーンで開かれた世界選手権の決勝トーナメントで優勝戦まで勝残り、東

つませたいと云う考えの基から、今回は「全日本」の編成をあえて止めました。それに色々なチーム、特に大学の単独チームの対戦には観客層も広範になると云う利点もありよい結果を生むのではないかと思えます。』

— 西日本勢では全関学が対戦するだけで他のチームは予定されていませんか……

『西日本地区に日程を組んでいない特別の理由はありません。ただ、先年、西ドイツが来日した時は北陸、山口、九州などを廻っており、その時、国際試合が出来なかつた東北、北海道を今回は優先したわけです。私としても全国各地でやりたいのですが、日程などの関係でそうも行けません。しかし、これで二回の国際試合によって、重点的ながら、全国の主要都市ではその経験を積んだことになりましこうしたことによって各地方のハンドボール界の振興が成し遂げられると考えます。』

— 日本の国際的な水準はどの程度です?

『この間、西ドイツが来た時にファイク团长が日本は大体フランスと同程度、つまり世界的にはBクラスの上あたりであると云っていました。私、その後、今日までに見せた日本ハンドボール界のレベルの上は驚異的なものがあつたと自負しておりますし、少くとも、Bクラスの上あたりと云う言葉の「あたり」と云う言葉は不用になったと思います。あるいはAクラスの下ぐらいではないかとさえ思っている位です。』

— そうなると、今度の国際試合の日本側の善戦は大いに期待出来ますね

『その期待は充分です。先程も申しました通り今回は「全日本」がありません。その

ため特にコンビネーションとかチームワークと云った点に時間をかける余分がはぶけ、充分にルーマニア戦への秘策をねれるのですから、よい結果を期待してよいと思います。特に昨年内では無敵を誇った芝浦工大、関西のナンバ、ワン名門全開学の二チームは勝利も望めるのではないかと思ひますし、全早大、全中大、全日体大等と云った大学チームも優秀な若手OBを加えて強力なメンバーを編成しておりますので面白いと思ひます』

—地方チームはどうでしょう

『西ドイツの時は全日本軍よりもむしろ全東海、全富山と云った地方選抜軍の方が善戦した例もあり、決して大学チームに劣ると云うことはないでしょう』

—ルーマニアチームに技術的に特に学ぶ点は何？ 特に35メートルラインが新設されてからは初の国際試合なんですが

『想像ながら断言出来ることはルーマニアが六人攻撃、六人守備を常用すると云うことと35メートルラインを利用したプレーイが使はれると云うことでしょう。はつきり云つて日本のハンドボール界はこの35メートルラインを完全に消化しているとは云えません。その点大いに注目すべきプレーがあるでしょう。それにドリブルを使はずパスワークを多用して確実にもマークになつてからシュートを射つと云う先年ドイツが見せた攻法と同じプレーが行はれると思ひます』

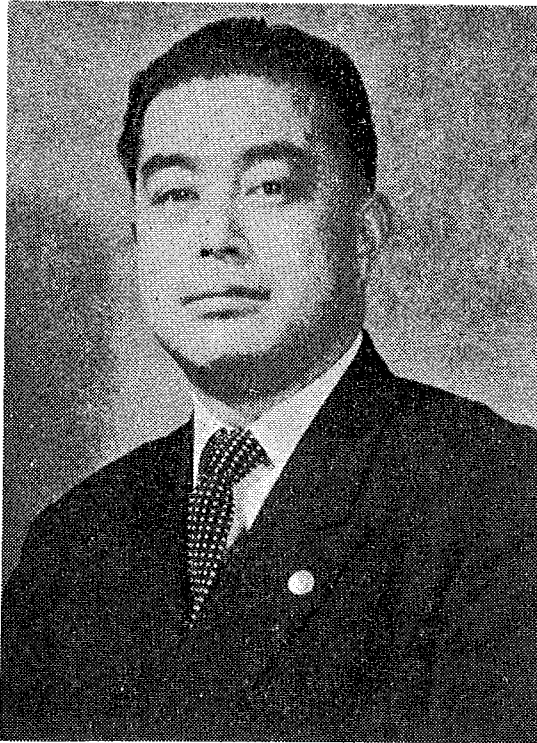
—先年の西ドイツはハンドボールのABCに忠実な正攻法でしたがルーマニアはどうですか

『これも想像ですが、おそらくドイツに増

したオーストリアの戦法でしよう。それだけなければ世界選手権でドイツと接戦することなんか出来ません』

—日本チームが勝つにはどんな点を注意したらよいですか

『やはり体格的、体力的に相手は数段優れていまして、それに倍するスタミナを養うことが第一です。それに身長が違いますから高い位置でのパスワークに対する方策を考えねばなりません。』



高島列(写真)理事長はハンドボール草創期に日体大FWとして活躍され、昭和27年日本協会理事長に就任、JOC委員、大正11年生れ

考えれば、旧ルールの時だった西ドイツの場合と違い、数とスピードに圧倒され、たやすくゆさぶられることは少いでしょう。』

—審判上の問題は？ ルール解釈の相違なんかありませんか

『おそらくないでしょう。もち論、大会前に同行した相手の国際審判員と打合せ会を開きますが、それから全国各地(予定では函館、仙台、桐生、東京、名古屋、西宮の六会場)で国内の公認審判員を集めて審判

—逆に日本チームの有利な点は

『残念ながら試合の決め手にまでつながら有利な点はないと云えましょう。しかし35メートルラインの設定でデیفエンスから云えば最大限六人のFWを相手にすれば良いし、オフエンスの面から云つても同じことが云え、その点ではスタミナの配分さえ

研究と講習の会を開くつもりでいます。』

—技術の指導面で特に計画は

『今のところ、国際試合を行う各地で試合後に技術講習会を行うつもりでいます』

「表紙写真 第13回東京都民大会決勝戦 大嶋電氣対芝浦クの試合、井上(大嶋)のシュート前、後は芝浦の斎藤選手。」

「ハンドボール」(季刊)

創刊号目次

巻頭言……………式場隆三郎 (1)

国際試合を前にして

高島理事長と一問一答 (2)

第6回全日本総合室内選手権観戦総記…………… (6)

東京五輪への選手強化方針…………… 荒川 清美 (4)

特集 全国各地今シーズンの展望…………… (22)

梁書帳…………… (16) ハンドボール時評…………… (16)

東西学生春季リーグ…………… (17)

中間展望…………… (17)

全日本学連今年の抱負…………… 中沢 重夫 (20)

学生シーズンの暮ひらく…………… (21)

昭和三十四年度…………… (26)

全国主要大会成績総覧…………… (26)

海外通信…………… (14)

投書…………… (14)

今月の問題…………… (30)

協会便り…………… (31)

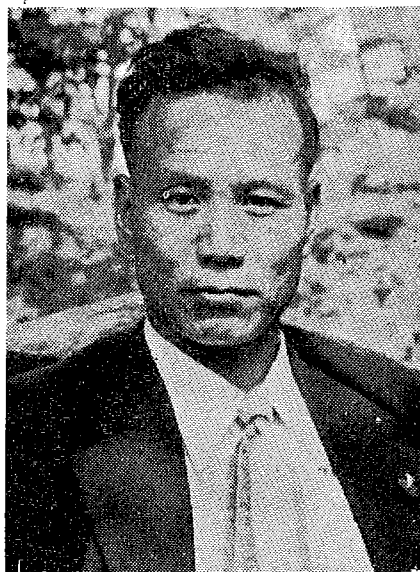
…………… (32)

…………… (32)

…………… (32)

東京オリンピック選手強化対策方針

荒川清美



である。

如何に立派な施設を整備し建造しても、肝心の競技に最大の努力が傾けられなかつたら、社会の関心はうすらぎ失望することは言を待つまでもないことである。

かかるためにわれわれは、すぐれた立派な選手をつくらなくてはならないのである。

世間ではハンドボールは正式種目に数えられているが果たして

「勝てるだろうか」などと期待や希望を語っていることを、よくきくのであるが、この純粋な社会感情に、こたえるべく、すぐれた良い選手をつくることは最大にして最高の急務であり、責任でもあるわけである。われわれが育成したいと願っている選手は、日本を代表するにたる、純粋なアマチュアの選手で精神的にも肉体的にも備えがあつて大会の検舞台に立つても、堂々と戦える選手なのである。

このような選手を育成すべく発足したのが日本体育協会の「東京オリンピック選手強化対策本部」である。

又対策本部に関連して「スポーツ科学研究委員会」をつくつて科学的研究をしたり、外国の強化策を調査研究したり、諸外国の科学研究文献や技術指導教材を集めたり、いずれもみな選手強化に役立つ日本での競技力を世界的水準まで引き上げるべく設けられたのであります。

選手の強化を進めていく上には四年後オリンピック大会時の諸外国の力を想定しなくてはならない。今日われわれが四年後の世界の競技力は極めて高い水準にあるものと考えなければならぬのである。

きくところによるとソ連の軍隊のスポーツはハンドボールとバスケットボールとが採用され、全軍にハンドボール競技が実施されていることである。六億の人口を要する中共においては、秋に開催される、国内選手権大会の地方予選が、早くも四月から実施されている現況である。それに科学的研究の競争と進歩は選手のトレーニング法と技術を改善するので恐るべき世界中の選手を迎えて戦う覚悟をしなければならぬのである。

一九五六年九月世界選手権を保持する西ドイツチームを迎え、全国各地を転戦し、日本ハンドボール界に大きないぶぎと、そして今後の方向を明確にしてくれたことはこの機にあたり、感謝するものである。

いずれにしても日本の水準と世界の水準には相当なへだたりがあつて、いたずらに希望を失い悲感ばかりであつてはいけぬ。科学的研究を基調とした合理的トレーニングの方法と技術を生み出すことによつて底い競技力を高い競技力へと引き上げられると信ずるからである。

競技力は科学的研究によつてのみ培われるものでないことではあるが、又経験のみにたよつても解決されるものではない。経験と科学が相伴つて進むことがより以上の期待に応える近道である。

昨年第一回の中央指導者講習会を東京で開催したのもわれわれはそれを認め信ずるからである。選手は常に指導者の頭脳と力働から生れてくるものである。

良い選手は良い指導者によつて生れてくるのも当然である。

昨年五月ドイツのミュウヘンで開催された第五十五回I.O.C.会議で、一九六四年の第十八回オリンピック大会の会場が東京と決定したので、日本のスポーツ界は心から喜んだのであります。

なかでもハンドボール競技にあつては……近代オリンピックは六十年の歴史を持つていたのであるが、ハンドボール競技は、ただの一度一九三八年第十一回ベルリンオリンピック大会に正式種目として登場しているだけであり、戦後オリンピック大会も三回を経ているのであるが、出場する機会が与えられず、目の出る日を只管望んでいたのであります。はからずも

一九六四年東京大会には正式種目として、その責の一旦を任う資格を与えられたので、愛好者の永い間の念願と要望が実を結んだのであるから、この喜びは一人であり、反面ことの重大さを痛感せざるを得ないのである。東京大会に正式種目として決定した今日は、ただ如何に立派に日本に成し、真の実質的な競技を実施するかが問題である。

スポーツの世界においては、相手を遇する最大の条件は、対等の力を持ち最後まで良い試合をすることである。

能力乏しくして相手を迎えることは非常識にすらあたたいものである。

ためにハンドボール競技は良き指導者によって、選手の身体の適性によるトレーニングを増すことにより競技力は高められるのである。

ために指導者養成が最大の急務でなければならぬゆえんである。

選手の強化は対象である選手の競技年令に制限されるので数年の中に勝負をつけなければならぬことであり、それに身体的にも精神的にも、はなはだしい動揺のしやうい時機でもあるので、この潜在力を養って最高の限度まで育成することは相当な困難を予想しなければならぬのである。

これにもかかわらず人間づくりに精神をうち込んでくれる指導者でなければならぬことである。

しかし、如何に指導者がその気になっても決して効果が現われるものではない。

指導者によってトレーニングの研究がなされ、選手の心構えができ技術と戦術の改善がなされてこそその効果が見い出されるのである。

完全なトレーニング方式が有効適切に完了されて、始めて優秀な成績が期待できるのである。

東京大会に備えての選手はそれぞれ発育過程にある青少年で、この青少年の発育にふさわしいトレーニングの量と質が研究され、適

切なる指導のもとにつちかわれたものが検舞台で充分なる活躍が期待されるのである。

東京大会に備えての選手の強化はひとりが合点してもその効果はなく、日本中の一人々々の指導者の力強い協力がなければ達せられないのであらん限りの御協力を御願ひする次第であります。(筆者は日本ハンドボール協会理事、オリンピック東京大会選手強化対策委員会ハンドボール部門委員)

★東京五輪選手強化対策委員会とは……

(解説) 荒川氏の文中にもある通りJOC(日本オリンピック委員会)が四年後のオリンピック東京大会に於いて日本代表選手が各競技各種目に優れた成果をあげて欲しいと云う国民一般の期待や要望に応えるために、ローマ大会(注・ハンドボールはローマ大会種目がないが)をもその期間に含めて、スポーツ科学の進歩や発達にもなるトレーニング法や技術、戦術などを計画的、組織的に研究して、特にコーチの素質を高め、コーチングを改善して選手の強化と育成に当らうと云う意図の基に昨暮に結成されたものである。またこの委員会は強化、育成の対象とする選手を体力、体質の秀れた戦後生れの青少年層に置いて注目がされ、すでに

活発な活動をしている。なお強化対策委員長は田畑政治氏、副委員長は大島鎌吉氏。前稿執筆者の荒川清美氏はハンドボール部門の選出専門強化委員である。なおハンドボール界では今春三月早くも神奈川県協会が神奈川県下の高校優秀選手を中心に藤沢市で西山逸成氏(日体大OB)神奈川協会常任理事)をチーフコーチとして、優秀新人選手強化指導合宿を行つた

東京オリンピック 組織委員会委員名

▽会長 津島寿一▽副会長 安井誠一郎、竹田恒徳▽事務総長 田畑政治▽委員 足立正、浅沼稻次郎、東竜太郎、福田篤泰、福永健司、本田親男、石坂泰三、加藤好雄、北田一郎、松田竹千代、松永東、中村梅吉、野村秀雄、大久保留次郎、重森寿治、鈴木俊一、高石真五郎、内田道治、内山岩太郎、柳田秀一、安井賢、菊地民一▽幹事 堀武芳、太田哲三、桜田武

海外ハンドボール通信

▼ヨーロッパ各国の優勝チームを集めた国際七人制ハンドボール(男子)選手権大会は二月末ブカレストで行はれ、予想通りドイツのフライジャウワ・ギョッピンゲンが優勝した。

準決勝以降の成績次の通り。

アーハス (デンマ) 20 (11-4) 10 UCパリ (独)

FAギョ (独) 10 (5-4) 8 ダイナモ (ルーマ) (独) 5 (1-4) 8 (ルーマ) (独)

FAギョ (独) 18 (10-5) 13 (デンマ) (独)

▼この大会で優勝したフライジャウワ・ギョッピンゲンは、今夏七月末ブエノスアイレスに遠征する。

▼フランスの強豪UCパリチームは今夏ブラジルハンドボール協会の招きでブラジル及南アメリカに遠征する。

▼今年の六月十二日から十九日まで行われる女子十一人世界選手権大会は六ヶ国が参加し、A・Bグループに分け次のような日程で行われる。

六月十二日 ルーマニア対デンマーク、ドイツ対ポーランド、六月十四日 オーストリア対デンマーク、オランダ対ポーランド、六月十六日 ルーマニア対オーストリア (以上第一次戦)

六月十七日 第二次戦としてAグループ(ルーマニア、オーストリア、デンマーク)Bグループ(ドイツ、オランダ、ポーランド)

の上位2チームがAグループ一位対Bグループ二位Bグループ一位対Aグループ二位の日程で対戦。

六月十八日 A・Bグループ三位同志が対戦。

六月十九日 3位決定戦及優勝戦

▼明年三月一日から十二日間に亘って行われる予定の第四回世界七人制ハンドボール男子選手権大会(開催地未定)は約十二ヶ国が参加する予定である。大会は参加国をABCDグループに分け第一次戦を行い、各グループの二位までの八ヶ国を更にABグループに分けて第二次戦を行い、順位決定はA・B一位同士による優勝戦、同二位同士の三位決定戦、同三位同士による五、六位決定戦、同四位同士による七、八位決定戦と云った試合方式が採られる

第6回全日本総合室内選手権観戦総記

(昭和35年1月26日~31日、東京台東体育館)

共同通信社運動部 駕 尾 武 治
 デイリースポーツ東京本社 小 川 勵 行
 NHK運動部 杉 山 茂

芝工大が三年ぶり優勝 男子

▽男子一回戦

明星ク 不戦勝 (神戸ク)
 (東京)

早大 34 (1321-11) 5 法政二高ク
 (東京) 1321-11 (奈神川)

陸上自衛隊 24 (1212-11) 8 都立五商
 (神奈川) 1212-11 (東京)

滴水会 16 (106-10) 2 函館工OB
 (東京) 106-10 (北海道)

桐生ク 18 (77-18) 17 府中ク
 (群馬) 77-18 (東京)

全芝工大 29 (1613-11) 3 明星ク
 (東京) 1613-11 (東京)

全芝工大 22 (14-5) 13 日体大
 (東京) 14-5 (東京)

全芝工大 26 (1115-15) 11 桐生ク
 (東京) 1115-15 (東京)

▽男子二回戦

早大 22 (14-5) 13 日体大
 (東京) 14-5 (東京)

芝工大 26 (1115-15) 11 桐生ク
 (東京) 1115-15 (東京)

全芝工大 29 (1613-11) 3 明星ク
 (東京) 1613-11 (東京)

全芝工大 22 (14-5) 13 日体大
 (東京) 14-5 (東京)

全芝工大 26 (1115-15) 11 桐生ク
 (東京) 1115-15 (東京)

全芝工大 29 (1613-11) 3 明星ク
 (東京) 1613-11 (東京)

全芝工大 22 (14-5) 13 日体大
 (東京) 14-5 (東京)

全芝工大 26 (1115-15) 11 桐生ク
 (東京) 1115-15 (東京)

互角の滑り出しであったが、長身選手を揃えた早大は次第にその特長を発揮して強力な突進力を見せて前半で大差がついた。後半日体も奮起したが大勢をくつがえすには至らなかった。

陸上自衛隊 25 (1213-13) 20 学芸大
 (東京) 1213-13 (東京)

自衛隊は先制攻撃が成功して昨日に続く速攻勝ちだったが後半鋭さが目に見えておちるのは一考されてよい。

滴水会 10 (4-1) 4 東京教育大
 (東京) 4-1 (東京)

滴水会は調子にムラがあり鮮かな速攻を決めるかと思うと凡攻を見せると云った不安定な試合ぶりだったが体力的に教大を上廻ったのが勝因。

福島ク 17 (107-16) 13 五商ク
 (福島) 107-16 (東京)

福島は攻撃に変化がなくあまりにも一本調子だったために捨身の五商クに食下られ実力以下の試合ぶりで苦戦した。

芝浦ク 15 (8-2) 4 全教大
 (東京) 8-2 (東京)

黒馬同士の対戦だったが期待はずれの凡戦。全教大は主力選手に鋭さがなく、芝浦のスピードいな試合運びに圧倒され続けよい所が全くなかった。

全日体大 26 (1115-15) 11 桐生ク
 (東京) 1115-15 (東京)

桐生としてはむしろ善戦で全日体大は優勝への意欲が充分読みと

られ終始慎重な攻防を示した。七人制を消化している点では全出場チーム随一の名に恥じず、定評通りの試合ぶりだった。

鎌倉学園高 26 (1511-2) 5 明星学苑
 (東京) 1511-2 (東京)

東京、神奈川を代表する有力高校の対戦だったが自信にあふれた鎌倉がスピードのある攻撃で制勝した。(以上 杉山)

▽男子三回戦

全芝工大 14 (8-1) 11 早大
 (東京) 8-1 (東京)

【大】木戸沢岡哲谷正沢坂館保
 早大 40 ST 40
 【早】鈴木北森吉恵吉長塩大久
 40 ST 31
 【芝】GK [B] FW [交代]
 見上口井藤部田藤俊川本
 原原 40 ST 38
 【芝】鷹村田高佐原山宮宮塩福

早大の斗志はすさまじいばかりでこの日までに二試合で56点をあげた長身のFWトリオが鋭く芝浦守備陣に突進し熱戦となった。早大にとって惜しまれるのは前半17分5-3と2点差に迫り、尚調子にのって反撃に転じようとした際CF恵谷が負傷して後半20分近くまで欠場を余儀なくされたことでこのためFWコンビネーション攻撃も狂い勝ちとなり、一気にタイスコアにするチャンスを見逃したと云う。それと開始8分で殆んど無上の拙さにあり、スローオフと共にすでに気力充分な全芝浦の精

神力に一步をゆずったのが勝敗を色分ける結果になったわけだ。しかし早大の長沢、吉田正、恵谷の豪快な攻撃は魅力のあるもので、この日で姿を消したのはさびしい

(小川)

滴水会 19 (8-5) 9 陸上自衛隊

【水】保藤 村橋 蘭智川 村賀

【滴】久齋 野大内 越長 中吉

【上】G K B F W 交代

【陸】下村 藤木 田淵 山屋 尾田 林

【宮】越佐 佐本 片西 古丸 鶴小

鎌倉学園 高15 (6-1) 5 福島ク

【倉】木藤 本田野 根木 木山 田原

【鎌】青佐 宮神 小中 青鈴 杉押 庵

【島】G K B F W 交代

【福】木山 木籬 治村 東藤

【朽】寺鈴 草伊 野河 加

滴水会 × 陸上自衛隊は互いに恵

れた体力をぶつけ合う試合とな

ったが、両軍併せて90の反則数が

示す通り、たえず主審の口からホ

イッスルが開こえる有様でスピ

ド感に欠けた。勝負は後半にスタ

ミナの余裕を残した滴水会が押し

切った。鎌倉学園 × 福島クは前半

着実にチャンスをものにした鎌倉

に対し、福島は疲労が見えてミス

プレーが多く自滅した形だった。鎌倉はこの日も小野、中根、青木のFWトリオにHB陣の健斗で勝

進んだ (鴛尾)

全日体大 16 (6-5) 11 芝浦ク

芝浦クラブは近藤、北村らの好

プレーで前半は白熱した好ゲーム

となり、全日体大をたじたじとさ

せたが、後半開始直後、全日体大

【川】田 野下 川上 田山 林 田

【日】北松 東 保

【芝】野石 森倉 藤田 村山 井村

【今】大高 勝江 池 北金 武中

芝浦のディフェンスをつき、山下

清川、井上のFWが前哨気味に相

守陣をかく乱し、遅れて攻撃

に加る竹野にボールを集める策戦

が、成功してそのほとんどを得点

に結びつけた。 (小川)

▽男子準決勝

全芝浦工大 23 (13-10-7) 15 滴水会

【見】上口 井藤 部田 藤 俊川 本

【芝】鷹村 田高 佐原 山宮 宮塩 福

【水】G K B F W 交代

【滴】保藤 村橋 蘭智川 村賀

【久】齋 野大内 越長 中吉

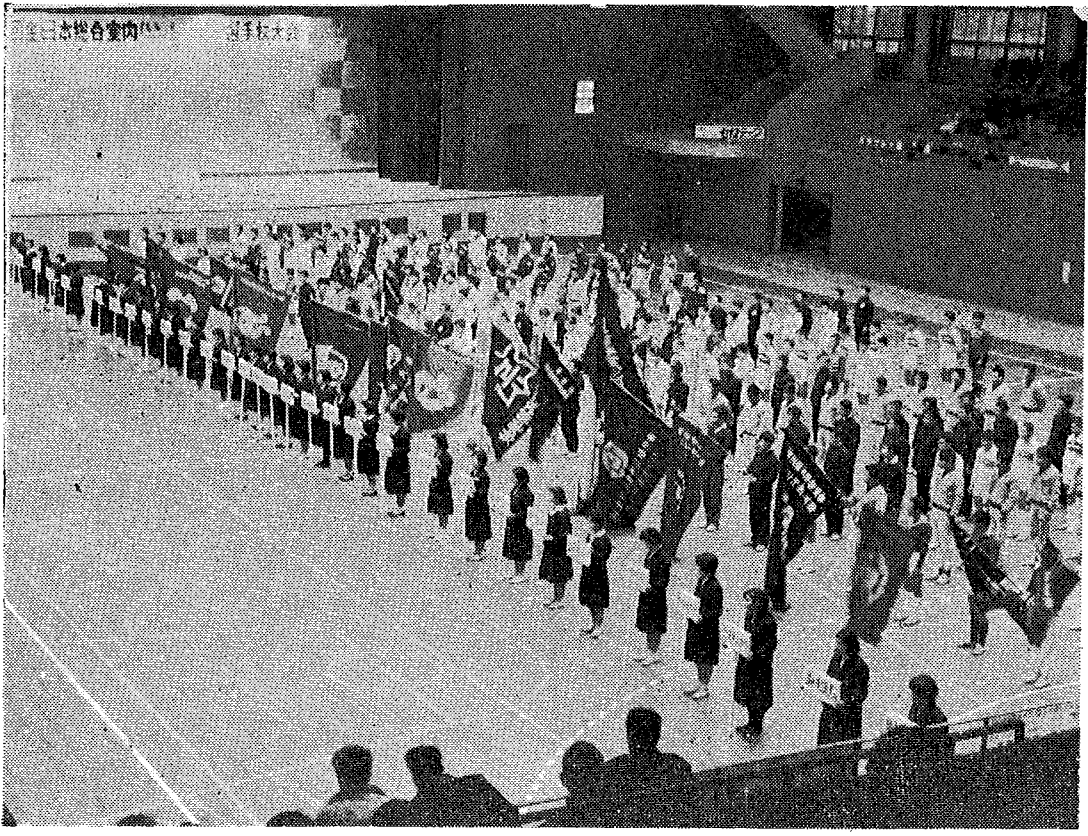
試合は芝浦同士、しかも一、二

軍戦の感があって勝負は最初から

問題外だったが、滴水会は前半25

分まで、よくレギュラーの全芝浦

工大に食い下り、特に9分、10分



東京でインドア大会が行なわれたのは昭和31年秋の早慶明法リーグ戦(明大体育館)次いで2度目、一般公開の大会は本大会が初めてであっただけに注目された。試験期を控へて東西学生界の諸チームがあまり姿をみせず西日本勢の参加が少なかったのは惜しまれたが男子24 女子16チームが参加して好ゲームをくりひろげた。写真は26日の開会式に勢揃いした出場全チーム。

12分と立て続けに速攻を決めて4-1とリードしたあたりは鮮かなものがあり互角の試合ぶりだった。しかし全芝浦工大はハーフタイム直前から持前の快足攻撃が調子にのり始め、矢次早に得点をあげてペースを奪い返し後半は余裕のある攻防で順当勝した(小川)

全日体大 26 (14-12) 17 鎌倉学園 高

【川田 野下川上田山林田
体 東 保
北松 竹山清井久栗小福
【G B F W 交代
倉木藤本田野根木木山田原
鎌倉 青佐宮神小中青鈴杉押庵

48 26
79 22
S T
反 則

後半全日体大が実力を発揮して結果的には9点差がついたが、後半6分までは1点を争う好ゲームを示した。全日体大は竹野を中心にゴールを狙えば、鎌倉学園も馬力にも云はせて食い下り、後半の5、6分には鈴木、小野がバックシュート、右サイドからのジャンプシュートをそれぞれ決めて15-13と全日体大をリードする場面もあったが、若い鎌倉学園は調子にのって中盤で日体大とせりあったのが悪く、結局終盤戦は試合かけ引きの上手さと日体大の脚力に走り負けするものとなった。(小川)

▽男子三位決定戦

鎌倉学園 高12 (7-13) 11 滴水会 (5-18)

【木藤本田野根木木山田原
鎌倉 青佐宮神小中青鈴杉押庵
【G K B F W 交代
水 保藤 村橋 蘭 智川 村賀
滴谷 久斎 野大内 越長 中古
前日の大激戦の疲れも見せず鎌倉は芝浦の一、二年生を中心にした滴水会に真っ正面から勝負を挑み堂々の勝利を挙げた。特に前半に見せた快足を利した速攻は圧巻で、高校はなれした試合展開力と共に洗練されたチーム力を十分に印象づけた。(杉山)

芝工大、驚異の逆転

▽男子決勝戦

全芝浦工大 14 (7-8) 13 全日体大

【見上口井藤部田藤俊川本
浦 芝藤村田高佐服山宮宮塩福
【G K B F W 交代
日 川田 野上川下 田山林田
保 東
北松 竹井清山久栗小福

55 21
68 29
S T
反 則

後半10分13-7と全日体大が6点差をつけた時は全芝浦工大の優勝はほとんど不可能と思われた。しかし全芝浦工大は気落ちせず、大会史を飾る驚異の逆転劇を演じた。前半立上り3-0とあっさり先行した芝浦は、またしても日体の機先を制して簡単に勝を握るかに見えたが、日体も竹野、東のペテランが活躍して徐々に失点を重ね返し、ハーフタイム前には井上のミドルシュートで8-7と逆転

に成功。その好調を後半にも持込んで、鋭い出足で芝浦のパスをカットしては逆襲し10分に13-7と誰が見ても絶対の優位に立った。だが、芝浦のベンチはここで巧技の山田をあえて退陣させロングシューターの宮原俊、佐藤を交互に起用、突っ込みを早くする作戦に出た。これを転機にこの二人と服部を加えたF.W.トリオが速攻で日体の固いディフェンスを破り26分には遂に13-13と追いついた。その後も速攻で相手ゴールを襲いつづけて8分劇的な宮原俊の決勝シュートが左サイドから鮮か、決つてリードを奪い返し三年ぶりの優勝を遂げると共に全日本総合、全日本学生、全日本学生王座に次ぐ四つ目の全国タイトルを獲得し完全全国制覇と云う前人未踏の偉業を成就した。(鴉尾)

男子年次優勝チーム

- 第1回 日本体育大学
- 第2回 日本体育大学
- 第3回 全芝浦工大
- 第4回 日本体育大学
- 第5回 全日本体育大

- 今大会
- 一位 全芝浦工大
- 二位 全日本体育大
- 三位 鎌倉学園高
- 四位 東京滴水会



(写真は決勝戦、試合開始前両軍主将のトス、全日体大(左)清川 全芝工大 宮原、主審岡村)

女子は熊本クが制覇

愛知紡に往年の鋭さなし

▽女子一回戦

愛知紡績	9	3	1	4
(愛知)	1	2	3	1
	1	0	2	
	1	0	0	
太田二高	6			
(茨城)				

延長前まではむしろ太田に分があった。愛知紡は昨年の水滸後全国的な大会には初出場であり、練習不足が云はれていたが果して往年の鋭さは殆ど見られず、試合運びの上手さで先行されながらも太田に追いついて勝負を延長戦にも

ここんだ。こうなるとキアリアの差がはつきり表はれ太田に焦りが感じられたのに反し、愛知はゆっくりボールを廻してはチャンスをつくりかがい相手ディフェンスをよぶる老かな試合ぶりで勝利をもぎのにした。太田としては後半それまで健斗していたFWが疲れて2点に留ったのが痛くもう少し慎重に攻めて追加点をあげていれば勝てた試合だった。(杉山)

日体大 10(4-6)3 清水商高 (東京) 4-1-6 9 (静岡) 後半清水の見せた気力は天晴れで、日体大も浮足立っていたが前半のリードでことなきを得た。日体が前半多用した速攻を後半示さなかつたのは疑問で苦戦の因もそ

こにあった

桜水商	不戦勝	有磯高
(東京)		(富山)
大谷ク	14(5-1)4	若松一高
(大阪)	9-1-3	(福島)

大谷の徹底した速攻に若松はベイスを乱され反撃の糸口をもつかめぬままズルズルと押し切られてしまった。

水海道二高 16(8-1)0 1 日女体短ク (茨城) 8-1-1 (東京) 北海道の速攻はなかなか堂にいったもので、日女体短大は振り廻され通し。大学チームにしては不甲斐ない戦いぶりだった、熊本ク 10(2-1)1 静岡城北ク (熊本) 8-1-0 1 (静岡) 熊本は前半調子が出なかつたがシュートミスが多く苦しむ戦いぶりだった。しかし後半に入るや俄然FWトリオの動きが滑らかにになり鮮かなパスワークと正確なシュートで点差を開いていった。前半接戦して希望を持たした静岡も後半6本のシュートでは勝利を望むべくもなかつた。(小川)

清水女高 11(5-1)2 5 四日市高 (静岡) 6-1-3 (三重) 基礎技術の優劣がそのままスコアになつたようなゲーム。

栃本女高 12(4-1)1 全熊谷女高 (栃本) 8-1-0 1 (埼玉) 前年二位の栃本女高の成長ぶりが注目されたがさすがにFW鶴見白井らの動きはよく巧みなカット・イン・プレーで順当勝した。

▽女子二回戦

愛知紡績	11(7-3)8	日体大
(愛知)	4-1-5	(東京)

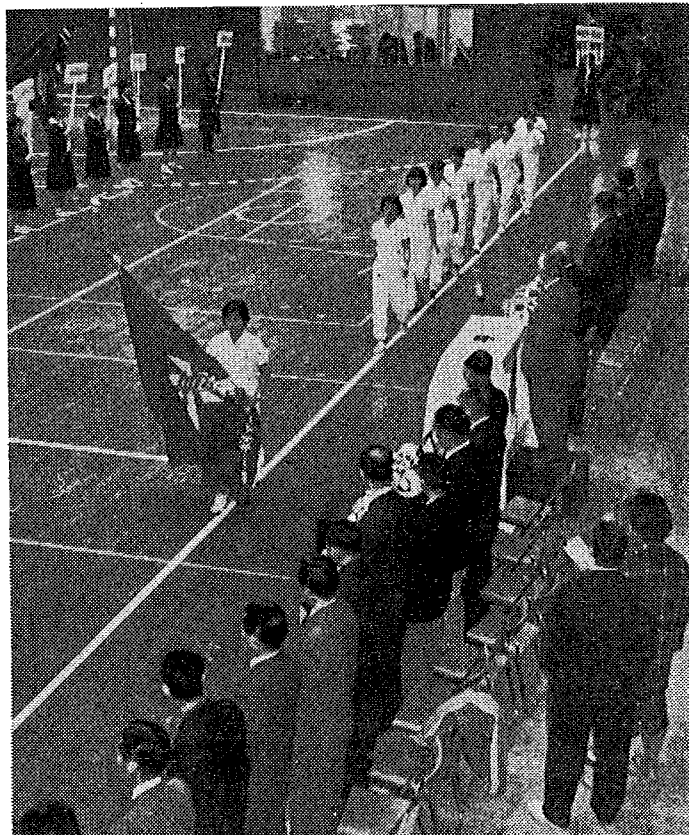
日体大は滑り出しは良かったがいささか竜頭蛇尾で愛知に立直るスキを与えたのが拙かつた。愛知は前日に引続き会心の試合ぶりで

【崎崎本川部木田野山田駒】
 【愛野山瀧瀬磯青沢黒桑太生】
 【GK】
 【B】
 【FW】
 【交代】
 体村木田沢塚上田林橋多田
 【日】
 中鈴増寺大川真小高本山

37 ST 33
 15 反則 19
 【谷】 山本岡田 山田宗
 【大青岡藤松古 隅 乾 神小】
 【GK】
 【B】
 【FW】
 【交代】
 水石田藤村田井沼井由林関
 上片伊木永石蓮浅八村今

はなかつたがFWは僅かながら調子を取戻したようで速攻、速攻の使い分けなどはやはりマネの出来ない上手さを持っていた。(杉山)

内容的にはさしたる興味のあるプレーはなかつたが東京の高校チームが準決勝に進出した点に意義があつた。大谷は上手みはあつたが決め手を欠いたために、忠実にボールを拾いまわる若い桜水に名をなさしめた。体格的に弱いと云



写真は大会開会式で高校の単独チームとして期待をかけられた清水商(静岡)チームの入場

はれる東京の女子高校界でこの桜水の健斗は大いに買はれてよいだろう。

熊本ク 9 (312) 6 水海道二高

【熊本】田原田手池 上崎田部
 【熊早】浦内井今 村栗島溝
 【海芳】沢山本原谷梅野木村村
 【水谷】古童香宮塚染古坂小田下

27 33
 ST 則
 反



写真は女子二回戦愛知紡績対日体大前半10分愛知紡右サイドからの得点成る寸前

水海道不振の音が聞かれ、熊本クラブの一方的な試合になるかと予想された戦前だったが熊本クラブは本調子ではなく、後半3分31秒とタイスコアに追いつかれるなど水海道の鋭い動きに苦戦した。しかしFW村上、関のコンビネーションが後半シャープな突っ込みと速攻で水海道のデイクエンスを割って強者ぶりを発揮した。水海道は強豪に対して遅攻に出る

と云う策戦が一応成功し前半は互角だったが、後半熊本が早いペースに出るとつり込まれたように調子をあわせ自らのペースを狂はせたのが失敗だった (小川)

【山望】長雨大戸遠石小
 栃木は前半15分41秒とリードされる場面もあったが、鋭いカットインプレーは流石に昨年二位の貫録、食い下る清水を退けた。清水は基本に忠実なプレーを見せて好感が持てたが、やはり実力の開きがかなり見え善戦が精一杯だった。栃木は、今年こそを期してかなり練習量も豊富なようで、後半はそうした努力が実を結んで準決勝にコマを進めた。 (小川)

▽女子準決勝
 愛知紡績 13 (912) 4 桜水商業

【石東】村田井沼井田関
 【水】桜上伊木永石蓮浅村八今
 【紡】崎崎本川部木田野山田駒
 【野山】滝瀬磯青沢黒桑太生

37 11
 ST 則
 反

愛知紡績はFW瀬川、沢田、青木の早いパスワークで桜水の問題としなかった。出足から持前の突進力で鮮かなタテ・パスなどを交

えて前半5分で610とリードしそのままの調子で押し切った。桜水はチーム結成一年の若さが見受けられ試合運びの巧いベテラン愛知紡に屈した格好だが、ここまで進出したのは立派だった (小川)

【熊本】田原田手池 上崎田部
 【熊早】浦内井今 村栗島溝
 【海芳】沢山本原谷梅野木村村
 【水谷】古童香宮塚染古坂小田下

38 32
 ST 則
 反

【山望】長雨大戸遠石小
 栃木は前半15分41秒とリードされる場面もあったが、鋭いカットインプレーは流石に昨年二位の貫録、食い下る清水を退けた。清水は基本に忠実なプレーを見せて好感が持てたが、やはり実力の開きがかなり見え善戦が精一杯だった。栃木は、今年こそを期してかなり練習量も豊富なようで、後半はそうした努力が実を結んで準決勝にコマを進めた。 (小川)

▽女子三位決定戦
 栃木女高 18 (1711) 2 桜水商

【石東】村田井沼井田関
 【水】桜上伊木永石蓮浅村八今
 【紡】崎崎本川部木田野山田駒
 【野山】滝瀬磯青沢黒桑太生

28 8
 ST 則
 反

桜水は一回りも二回りもスケールの大きい栃木の速攻に柔りんざれて完敗した。栃木は前日当りの出なかつた野口が得意のロングシュートでゴール前を徹底的にマークし、更にゴール前のローリングパスで愛知を大きくくさぶる策戦が効を奏した。 (鷲尾)

エリートを決めて豪放な試合運びを見せたが、当りはずれの大きいこうした攻撃よりやはりパスワークによる攻撃に重点をおくべきで秀れたコンビネーションを見せるFWトリオを擁しているだけになおさらである。 (杉山)

【熊本】田原田手池 上崎田部
 【熊早】浦内井今 村栗島溝
 【海芳】沢山本原谷梅野木村村
 【水谷】古童香宮塚染古坂小田下

39 14
 ST 則
 反

【山望】長雨大戸遠石小
 栃木は前半15分41秒とリードされる場面もあったが、鋭いカットインプレーは流石に昨年二位の貫録、食い下る清水を退けた。清水は基本に忠実なプレーを見せて好感が持てたが、やはり実力の開きがかなり見え善戦が精一杯だった。栃木は、今年こそを期してかなり練習量も豊富なようで、後半はそうした努力が実を結んで準決勝にコマを進めた。 (小川)

▽女子決勝戦
 熊本ク 7 (414) 6 愛知紡績

【石東】村田井沼井田関
 【水】桜上伊木永石蓮浅村八今
 【紡】崎崎本川部木田野山田駒
 【野山】滝瀬磯青沢黒桑太生

19 24
 ST 則
 反

熊本、終始愛知を圧倒

総評・てい談

ピカ一、女子熊本ク

X 室内選手権も六回を数えて、今年は特に東京で初公開と云う点もあり関心を持って見たのですが大分レベルは上っていますネ。

Z たしかに一昨年あたりから比べると、一回戦から相当内容のあるゲームもあって水準は上っています。特に女子は見違えるほど上手くなった。

X それじゃ女子から話を進めましょうか。まず優勝した熊本クラブなんですが――。

Y これはもう文句がない。特にあのゴール前のパスワークは絶品ですネ、下手な男子チームはやられるかも知れないヨ(笑)

Z それほどでもないとして、愛知が不精彩だった今大会じゃピカ一でした。今池、村上、関、それにH Bの井手が実によい動きをする。

Y 内田のリードも見逃せませんネ。

X そうだ。それにひきかえ愛知、栃木あたりは強いには強いがリーダーに欠ける。その点で熊本に内田の存在は大きい。

Z 愛知は全員キャリアがありすぎて失敗したフシも見つけられる

ナ。

Y そうネ、ここでもう一度ゆさぶってそれから射ってやろうとしてかえってカットされたりマークされたりしていた。

X やはり、それは練習不足なんでしょうがたしかに往年の鋭さはなくなつて来ましたネ。

Z でも機部なんか相変わらず上手いネエ。

Y とも角、なんだかんだと云われ乍ら決勝まで出たんだから大したものだ。熊本と並んで女子界じや双壁だ。

X 栃木はどう?

Z 私はむしろ去年の方がよかつたと思う。

Y 高校の現役チームとしてはやはりまとまっていますよネ一番。

X 今年も栃木はインターハイでは二回戦で半田高(愛知)に負けてるけどこの大会では何時も良い成績ですネ。

Z 太田二高もやらせたら面白かつたろうネ。

Y ウン、あれは良いチームになる。

X その他に目立ったことは――

Z 桜水の健斗。これを買おうネ。でも大谷とのゲームは多分にフロック気味だナ。

X 大谷は勝つと云うより試合を楽しんじゃってるからね。
Z しかし東京勢にはよい刺激でしょう。

文句のない男子決勝

X それじゃ男子の方を。

Y もうこれは完全に決勝戦が最大の話題だネ。

Z 私はネ、我田に水を引くみたんだけどあの試合は色んなスポーツを通じて昨年度じゃ五指に入る好ゲームだと思う。

Y あの試合のためにハンドボールファンが出来たかも知れないヨネ。

Z 特にテレビがあつたでしょう。試合としては最高の内容でした。もう全然文句はない。

X しかし、日本としてはあそこ(注、後半8分13-17とリードした時)でまさかひっくり返されるとは思わなかつただろうナ。

Z また、急にあれから日体が点が入らなくなった。それにしても芝浦の粘りは驚異的でした。殊勲は宮原俊隆だネ。

X 山田を引つこめて宮原を使つたのがかくれた勝因だナ、芝浦としては宮原のロングシュートでせめて得点差を少くしてと云う考えだつたんだろうが勝つちゃつた(笑)

Y そう、あの起用はたしかに当つたネ。

Z 東、松田、竹野と云つたベテランを加えても日本は芝浦に勝てなかつた、結局現役の差かネ。

Y 日本は山下、井上が一寸期待はずれだつたからそう云うことを云えるかも知れんが、あの芝浦の勝利欲と云うか試合への執着心は申し分ない「王者」ですよ。これには日本もカブトを脱がざるを得んでしよう。

X さて決勝戦の次に位する話題と云うとこれは鎌倉学園高の奮戦。

Z これも文句ない。それで三位になつたでしょう、普通なら前日あれだけ大激戦をやつて負けりや一寸ガタつと来るのにそうじゃありません。しかも芝浦の若手で固めた滴水会を破つたんですから絶讃ものですヨ。

Y ランクを作れば芝浦、鎌倉、日体の順にしてもよい位だナ、技術はとも角あの精神力気力は立派なものだ。

X あと目についたチームは。

Z 早大、それに滴水会、福島クラブ。

Y 芝浦クラブ。

X それじゃしめくくりとして技術的なことで何か。

多すぎる反則

Z 一番目についたのは反則の多いこと。速攻を止めるために意識的なフールを犯すことも一因だ

が、FWが簡単につかまっちゃうと云うことも云えると思う。ドイツの室内を見ておられる外山さん(注、準二氏協会参事)あたりに聞くと、とも角向うじゃ、今の日本のFWよりもワントイミング速い場所ですシュートを射つていると云う。つまりドイツのルーズに巻き込まれる前にゴールを狙つていると云うワケなんだナ、だから今よりもっとスピーディなわけ、今度の大会なんかでも速くなつた速くなつたと云われるがそう云う点ではまだまだだ、脚力と同タイミングのパスワークと云う点で未熟だと思ふ。

Y しかしそうなるには一寸遠いな、そうなりつつあることは認められるが、まだ何と云つたつて六年目だし、やはり芝浦、日体あたりのレベルは現在では望める範囲の最上段階まで来ているでしょう。

Z 来年は男子の七人制世界選手権がヨーロッパであるそうですネ。日本の代表を送つてみたい気もするナ。

X それじゃ最後に第七回大会への注文を一つづつ。

Z 大学勢と西日本勢の積極的参加。

X 地区予選制度の検討。

Y それに報道関係者にもう少々PRしてサーヴィスせにあ(笑)

X それじゃ、この辺で――。

王者「芝浦工大」の周辺

鴛尾武治

芝浦工大が全日本室内選手権で優勝し、四大タイトルを握ったと



ハンドボール界の王者芝浦工大チーム全日本の四大タイトルを独占し歓びにわく

き、わたしは高島監督にこういつた。「もう監督をやめるべきだ。球史始まって以来の大記録をなしてあげたんだから……。来シーズンいくらあなたががんばってみたところで二度とこの大記録は生れない。いまがそのチャンスだ」これについて高島監督は即座に「実は自分でもそう思っている。よいことをいってくれた。すぐ三浦部長（芝浦工大ハンドボール部長のこと）にいう」といった。ところが二、三日して高島監督に合ったら「三浦部長に先手を

打たれた。やめるわけにはいかないよ」とショゲていた。球史以来の大記録を芝浦工大がハンドボール部創立十年でやってのけた。実に立派なものだ。ハンドボールが日本に入ってから約二十五年、その間どの学生チームもできなかった四大タイトル、新聞記者のわたしにしてみれば打ってつけのニュースだった。高島監督にしてみれば「男冥利につきる」といいたいところだ。事実そう思っているに違いない。しかし日体大のOBであり、協会の理事長をつとめる彼にしてみればそんなことを公言できる立場ではない。また周囲の事情があるからいわなかったことだろう。

◆……昨シーズン一年間の記録は別表の通りだが、公式戦30戦29勝1敗、勝率・967。春のリーグ戦最終日に明大に12-11と1点差で敗れただけ。このときは6勝1敗で明大と同率優勝している。七月のインター・カレッジで同志社大を16-10で破ってから全日本総合選手権、関東学生秋季リーグ、

東日本選手権、全日本学生王座、全日本室内と23連勝を記録している。明大に一敗したことが芝浦工大にとってクスリになったといってもいいだろう。なぜ芝浦工大がこんなに強いのだろうか。その答えは極めて簡単だ。大学当局がハンドボールに愛情を注いでいるからだ。それに監督さがしが成功したこともある。いまでは芝浦工大といえはすぐ「ハンドボール」と飛び出すほどだ。三浦部長にしろ高島監督にしろ平常は自分の子供か、弟のようにかわいがる。しかし練習や試合になると鬼のように変る。スパルタ式練習とでもいおうか。それは想像以上のものだ（日体大の練習も相当きついときいている）。芝浦工大の部員らは金を出しあつて家を借り自炊生活。全員が二人交代で食事の世話をしきびしい。団体生活をつづけている。勝つためには団体生活、合宿生活で部内の統一をはかり、意志を通じさせている。部員は大学当局の愛情に対して勝つことによつてお礼をしている。三浦部長は置物の部長でない。自分から駒沢グラウンドに足を運んでいる。だから部長・監督・部員が一本の強い線になっている。

◆……練習にしてもただ漫然とボールをパスしてはいない。実戦と理論とがうまくマッチするように計画されている。そればかりではな

い。ハンドボールの虫といわれる部員が多く先を争ってボールを追う。このなかには宮原（藤）、宮原（俊）、服部、山田、塩川、高井、黒沢らがいる。彼らはハンドボールをやるために生れてきたような人間ばかり。大学を卒業しエンジニヤになつてもハンドボールをやるといつていた。他の大学にはなかなかマネのできないことだ。これで強くならなければおかし。一人の部員に「もし恋人が目の前に現われたらどうする」とときいてみた。そうしたら「恋人なんか問題にしない」という。わたしはこれを信用したい。わたしはハンドボールにかけては全くのズブの素人だ。ただなんとなく自分でもできそうなスポーツだと思つてハンドボールを見はじめた。戦後の二十一年からだ。当時は日体大、教大の天下だったが、芝浦工大は二十五年に発足してから十年目に天下を日体大から奪つた。この意気ごみは大したものだ。

◆……細かい記録を追つてみよう。昨シーズン30戦のうち10点以下の試合は関東学生秋季リーグ戦の対中大戦だけだ。30戦の総得点5799点、失点2777点でダブルスコアだ。一試合平均は得点19・3点、失点9・2点で常に10点差となつている。これはFWが非常に強力であること。さらにバックスの堅いことだ。FWの選手

い。ハンドボールの虫といわれる部員が多く先を争ってボールを追う。このなかには宮原（藤）、宮原（俊）、服部、山田、塩川、高井、黒沢らがいる。彼らはハンドボールをやるために生れてきたような人間ばかり。大学を卒業しエンジニヤになつてもハンドボールをやるといつていた。他の大学にはなかなかマネのできないことだ。これで強くならなければおかし。一人の部員に「もし恋人が目の前に現われたらどうする」とときいてみた。そうしたら「恋人なんか問題にしない」という。わたしはこれを信用したい。わたしはハンドボールにかけては全くのズブの素人だ。ただなんとなく自分でもできそうなスポーツだと思つてハンドボールを見はじめた。戦後の二十一年からだ。当時は日体大、教大の天下だったが、芝浦工大は二十五年に発足してから十年目に天下を日体大から奪つた。この意気ごみは大したものだ。

芝浦工大昨シーズンの総記録

勝敗	スコア	相手	月	日	場所
○	23-5	立慶	5.	2	駒沢
○	19-3	早稲	5.	3	"
○	17-12	早稲	5.	5	"
○	15-12	中教	5.	11	"
○	23-8	日教	5.	12	"
○	13-8	日教	5.	17	"
●	11-12	日教	5.	19	"
(同率優勝・以上関東学生春季リーグ)					
○	16-10	同早	7.	2	西宮
○	19-8	早稲	7.	3	"
○	11-8	早稲	7.	4	"
○	18-11	早稲	7.	5	"
(優勝・以上第2回全日本学生選手権)					
○	33-1	日商	8.	13	水俣
○	17-15	桜丘	8.	14	"
○	15-9	中全	8.	15	"
○	24-16	日明	8.	16	"
○	18-15	日全	8.	17	"
(優勝・以上第11回全日本総合選手権)					
○	21-2	立教	10.	18	駒沢
○	28-8	教大	10.	31	"
○	22-6	慶大	11.	1	"
○	18-10	早稲	11.	2	"
○	9-7	中教	11.	3	"
○	13-10	日明	11.	7	"
○	19-13	日教	11.	8	"
(優勝・以上関東学生秋季リーグ)					
○	21-5	東北学院大	11.	15	仙台
○	26-4	名古屋工大	"	"	"
(優勝・以上第3回東日本学生選手権)					
○	24-17	関学	11.	29	国立
(王座獲得・第3回全日本学生王座)					
○	29-3	明星クラブ	1.	29	東京
○	14-11	早稲	1.	30	"
○	23-15	早稲	1.	30	"
○	14-13	早稲	1.	31	"
(優勝・以上第6回全日本総合室内選手権)					

は「負ける気がしない」といい、
「5点負けても5分あれば追いつく」という。自信満々だ。そういえば全日本室内選手権の決勝で日体大に6点引き離されたが「1分間に1点」といいながらみごと逆転に成功している。恐るべき自信だ。全選手がこの気構えだからコワイものなし。FWの宮原(藤、宮原(俊)、山田、服部のスピード黒沢は足の故障でやむを得なかったが、タテの突進、タテの低いパス、ゴール前のローリング・パスはみごとだ。これがイン・ドアになるとフィールドの倍のスピードになる。山田、服部を両サイドに回して相手の意表をつく作戦、体の小さい宮原あたりがよくもあれほどのスピードを持って割り込みができるものだと舌をまく。



芝浦工大ハンドボール部部长三浦元秀氏

つとも長身者は徹底的にマークされる恐れがある。その点芝浦工大はFW全員が同じタイプなので少なくとも相手ゴマカスこともできる。体の小さいFWが低く速いパスをするから相手のバックスが手こずるのも当り前の話だ。

も実にうまい。そういうことが芝浦の利点にもなっている。ゴール前のルーズで例えばスタンドでみていても、この次はAが右へ、Bが左へ回りボールはCがキープして中央を割り左のBへパスするだろうと思っ

ズに相当な時間をかけているのではなかるうか。
物差しではなかったように選手の動きが実に正確だ。こういう攻撃の型がたくさんあるので相手は困るわけだ。
また両サイドの使い方にも相当苦勞していた。きびしい練習から得た細かいプレーが実戦にそのまま発揮される。「練習即実戦」の形式だから強いわけだ。攻撃も守備も一貫した練習を積み重ねてくるから四大タイトルの握ったもの不思議ではない。今シーズンは主力が大幅に抜けたので四大タイトルは夢にすぎない。しかしいままでの経験を十二分に発揮すればたとえタイトルを握らなくてもいいと思ふ。

芝浦工大の関東リーグ総成績

昭25秋	2部に新加盟
昭26春	} 2部
昭28秋	
昭29春	早法立慶教の1部5大学が関東学連を離脱したため、自動的に1部へ昇格3勝1敗で2位
昭29秋	2位 (3勝1敗)
昭30春	2位 (3勝1敗)
昭30秋	3位 (3勝2敗)
昭31春	2位 (4勝1敗)
昭31秋	優勝 (5戦全勝)
昭32春	2位 (3勝1敗)
昭32秋	優勝 (4戦全勝)
昭33春	優勝 (4戦全勝)
昭33秋	優勝 (7戦全勝)
昭34春	同率優勝 (6勝1敗)
昭34秋	優勝 (7戦全勝)

1部昇格後60戦52勝8敗
(敗戦内訳 日体大6敗立大1敗明大1敗)

芝工大の連勝、更に続く
昨年八月以来連勝を続ける芝浦工大は今シーズンに入ってからも春の関東学生リーグで開幕以来防大、慶大、教大、早大、明大を破り五連勝を遂げ通算28連勝を記録した。ハンドボール界のこれまでの連勝記録は高校界で桜台高(愛知)が昭和二十八年から五十年間高校界で無敗を続け、昭和三十三年の第九回全日本高校選手権進々決勝で清水商(静岡)に10-15で破れるまで連勝を続けた記録が最も長いレコードで、学生界では戦前、日体大と慶大がそれぞれ24連勝を遂げている記録があるが芝浦工大のように全国的なあらゆる大会に出て連勝した例は過去になく内容的には芝浦工大が最も高いと云うことが出来る。

地方だより

全北海道、陣容決る

ルーマニア・チームと対戦する日本側十チームのうち、メンバーが決定しているのは五月十日現在、全北海チーム(六月十四日、函館で対戦)だけが、その他のチームも五月中に発表する予定、

◇全北海道選抜軍

- ▽監督 小坂幸一(函館工出)▽助監督 佐々木武一郎(札幌師範出)▽コーチ 岩井長太郎(日体大出)▽主将 皆川茂美(日体大出、教員)▽FW 金山英男(函館開発) 島津光雄(島津鉄工) 天内蔵(函館中部高出) 八重樫英治(教員) 正岡健三(明大現役) 天野史郎(王陵部病院) 国分邦俊(函館ドック) 山本吉春(教員)▽B 三橋清一(函館ドック) 山口栄一(函館機関区) 佐藤清司(北学大現役) 佐藤重博(函館ドック) 田中昭雄(函館機関区) 宮崎光市(北学大現役) 泉孝幸(郵政局) 石切山捨治(教員)▽GK 永山正春(函館ドック) 石塚拓(函館商高出)

三国丘(男)京都(女)が優勝

近畿高校選手権

第三回近畿高校選手権は近畿六

地区の強チームを集めて五月十四、十五の両日奈良航空自衛隊グラウンドで行はれ男子は三国丘高(大阪) 女子は京都女子高がそれぞれ優勝した。

▽男子準々決勝勝者 那賀(和歌山) 洛星(京都) 明石(兵庫) 三国ヶ丘(大阪)

▽同準決勝勝者 三国ヶ丘、洛星

▽同決勝 三国ヶ丘高14(916) 洛星高510

▽女子準々決勝勝者 那賀(和歌山) 豊中(大阪) 京都女(京都)

▽同準決勝 京都女、豊中

▽同決勝 京都女子高7(311) 3豊中高412

宮城県大会では

東北学院大と涌谷高OG

第四回宮城県大会(河北杯) 最終日は十五日仙台二高球技場で行はれ、男子は東北学院大、女子は涌谷高OGの両チームが快勝一位となった。

女子決勝リーグ

- 涌谷高OG 12-10 宮城第三女
 - 涌谷高OG 13-11 宮城第一女
 - 宮城第三女 11-2 宮城第一女
- この結果 涌谷高OG、宮城第三女、宮城第一女の順。

▽男子準決勝

- 東 北 大 8-3 古川工OB
 - 東北学院大 12-6 仙台高OB
- ▽同決勝

東北学院大(312) 4東北大

◇東北学院は前半20分過ぎまでリードを奪えなかったが25分L I高橋が勝越点をあげてから後半の東北大の追撃を2点に食い止め、昨年続いて優勝した。

仙台一、涌谷に栄冠

宮城県高校リーグ

宮城県春季高校リーグは男子七校、女子三校が参加して五月八日仙台二高グラウンドで行はれ、男子は仙台一高、女子は涌谷高が優勝した。順位次の通り、

▽男子①仙台5勝1分 ②古川工4勝1敗1分 ③古川工4勝1敗1分 ④仙台二高、⑤仙台商 ⑥仙台青英高 ⑦仙台高

▽女子①涌谷高2勝 ②古川女高1勝1敗 ③宮城第三女高2敗

秋田で指導講習会

秋田県協会では、県下の選手強化と公認審判員養成を兼ねた指導講習会を5月5日から2日間湯沢で聞き成果をあげて終了したが本部協会から派遣された岡村昭二氏(教大OB、協会理事)は、「高校チームに秀れた選手が多く亦一般男子や女子高校の全般的なレベルも決して他地区に劣るものではない。全日本や国体での活躍は充分期待出来る」と語った。

鹿兒島工も制覇

第2回県下高校男子選手権決勝は九日、鹿兒島で行はれ鹿兒島工が優勝した。

が優勝した。鹿兒島工(212) 3加治木高

向上著しい地方学生界

関東、関西両学連の活潑な動きに対して近年地方学連の動きは斯界の注目を集めるところとなっており、特に一昨年からの念願の全日本学生選手権が開かれるようになってから地方大学の技術的な向上は著しいものがある。昨年の学生選抜東西対抗では東軍側がその選手団に東北学連と東海学連からそれぞれ二名ずつの選手を選出して参加させると云う画期的な試みを実現させており、しかもこれら地方代表が中央勢に比してそんな色のないプレーを示したことは大きな発見であり収穫であった。今シーズン特に刮目すべき戦果をあげているのは東海学生界にあつて無敵を誇り、今年に入つて早くも東海学生室内選手権と春季東海学生選手権のタイトルを連取した中京大であろう。中京大はハンドボールに限らず学生スポーツ界全般に亘つて頭角を表はし始めている新鋭だが、殊にハンドボールでは、王国愛知に在籍し、しかも昨年の全日本高校選手権の優勝校中京商と特殊な関係があるだけに中央勢としても、その実力を軽視するわけには行かず、今夏七月の第三回全日本学生選手権における試合ぶりが注目されよう。その他では東北

高校男子を中心に 国体参加内規を改訂

国体のハンドボールについて

本ハンドボール協会では東京オリムピック選手強化対策方針の一つとして今年度から高校選手の育成と強化を目的に高校男子の部に重点をおいて実施することに決め参加チームのワクを次のように広げた。()内は昨年の大会の参加数

- ▽北海道1(1) 1) 東北4(1)
- ▽北陸2(1) 2) 関東6(3)
- ▽東海3(1) 3) 近畿4(1) 4) 中国2(1) 5) 四国2(1) 6) 九州2(1) 7) 合計26(11) なお今年度はその他に開催県代表として地優熊本から一校参加。また、この決定によつて一般男子、一般女子、高校女子はそれぞれ十チームに参加数を削減された。

広島大会に三菱レ

広島県知事杯を懸けた春季ハンドボール大会は四月二十三、四日の両日修道高グラウンドで行われ高校男子では盈進商、一般男子は三菱レオン、高校女子は山陽女子高がそれぞれ優勝した。

▽高校男子トーナメント準決勝
修道高 14-8 宮原高
盈進商 14-1 山陽高

▽決勝
盈進商 19(10-15)6 修道高

▽高校女子リーグ戦

山陽女子高 18-0 進徳高
三津田高 11-0 賀茂高
世羅高 4-0 進徳高
山陽女子高 15-2 賀茂高
三津田高 23-0 世羅高
山陽女子高 7-4 三津田高
進徳高 4-3 賀茂高
山陽女子高 9-0 世羅高
三津田高 23-1 進徳高
賀茂高 4-0 世羅高
この結果、山陽女子高が四戦全勝で優勝

▽一般男子リーグ戦

三菱レオン 15(12-11)5 広商
三津田高 3(1-8)8 大俱楽部
福山クラ 9(5-4)7 大俱楽部
三菱レオン 11(7-14)5 福山ク
この結果三菱レオンが二勝で優

勝

京都三大学では同大

第八回京都三大学リーグ戦(京都学生選手権)は四月十日、京大グラウンドで行われ、同大が今シーズン好調の定評を裏づけて貫録の二勝をあげて一位となったが、攻守に充実した京大が、同大に互角の勝負を挑んだのが注目された。

同志社大 19-8 立命大
同志社大 12-11 京大
立命大 15-14 京大
この結果、同大、立命大、京大の順。

新星大崎電気 東京大会に優勝

恒例の憲法施行記念第十三回東京選手権大会は四月二十九、五月一、三の三日間駒沢ハンドボール場で行われ、一般男子の部には関東大学リーグの上位校や新星大崎電気、古豪三田クラブが顔を揃え賑やかな大会となったが結局一般が大崎電気、高校男子が明星高、高校女子桜水商がそれぞれ優勝して閉幕した。

▽一般男子決勝

大崎電気 16(8-15)9 芝浦ク

▽高校男子決勝



東京大会高校女子決勝桜水商対菊華高の試合、桜水商のシュート寸前。



東京大会、一般男子決勝大崎チームの攻撃

明星高 12(6-14)7 神代高
▽同女子決勝
桜水商 16(7-12)4 菊華高

一般男子に菊地市

熊本県民体育祭

熊本県民体育祭春季城南、城北地区大会(15日、水俣市浜グラウソシ)

▽一般男子決勝

菊池市 5(2-2)4 玉名市

▽高校男子決勝

市立商 23(12-11)5 熊商

▽同女子準決勝

菊池農蚕 7(3-11)1 尚綱
市立 16(7-10)0 水俣

▽同決勝は雨のため中止。

お願い、地方在住のハンドボール関係者による「地方通信」地方大会戦績その他各地方ハンドボール界に関するニュースの寄稿を歓迎致します。特に地方選手権関係の記事は万難を排して掲載するつもりです。よろしくお願致します。宛先は東京都千代田区神田駿河台協内日本ハンドボール協会編集部まで

東西学生春季リーグ

中間展望

山 茂
(NHK 運動部)

ハンドボールシーズン開幕を飾る東西学生春のリーグ戦は、関東が五月八日から、関西は五日から各校自信満々充実の陣容を率いて登場、開幕した。関東は芝浦工大、関西は関西学院大が最近5シーズン連続制覇しており、今シーズンも両校の実力は劣えず、両者の六連覇が期せずして東西リーグの焦点となっている。すでに両リーグとも第二週を終えているが序盤戦から見た各校の実力を展望して全国ファンに供しよう。

(記録は五月十五日現在)

芝浦工大

第一日〇20ー5防大
第二日〇7ー6慶大
第三日〇24ー11教大
昨年無敵を誇った芝浦工大も当時のメンバーから、服部、宮原(藤)、宮原(俊)のFW、黒沢、高井、村上のHB陣と六人が抜け、今季三勝をあげているものの流石に無人の野を行くが如き感のあった昨シーズンとは比ぶべくもない。特にそのFWは抜けた三人が超一流選手であつただけに見劣りがし、RW佐藤LI金山に進境のあとは見えるがCF山田の好配球を充分に活かす選手がいけないのは相手に去年ほどの脅威感を与えない。山田がマークされると動きが鈍くな

るのも不安で終盤戦は苦戦が続くそう。LW塩川、RI北村にも一息安定感が欲しい。バックスはCH田口、尾藤、村上のFボンプGK福本を中心にして堅い所を見せているので、芝浦工大が史上初の六連覇と昨年八月以来の連勝記録(五月十五日まで26連勝)をどこまで続けるかは一にも二にもFWの出来如何であり、各校の芝浦研究も盛んなだけに楽観は許せない。
しかし昨年までの芝浦工大はあまりにも強すぎ、ようやく各校と力の均衡がとれたと云う見方もあるが、芝浦工大の卒業の痛手を持って始めて他校に優勝のチャンスが生

じると云うのでは余りにも不甲斐ない。他校の奮起を大いに望むところだが、前人未踏の快記録を作った芝浦工大が、果してこの記録をどこまで延ばすかは、たしかに一つの興味であり、今季も芝浦工大の試合ぶりがリーグ戦の話題のピークにあることは間違いない。

日体大

第一日〇16ー6慶大
第二日〇7ー1防大
第三日〇14ー10明大

FWから清川、山下、バックスから豊島と攻守の主軸が卒業したが守備陣がリーグ唯一の安定感を誇りすご味はないがLW井上をリリーダートするFWも試合運びが上手く、まとまりのあるプレーを見せているので久々に優勝を狙える陣容。特に定評のあるGK福田、FB久保田を中心にしたバックスはキャリアも豊富でRB石松CH宇田川、LH旅とベテランを揃え、明大戦では正岡を徹底的にマークし零封するなど老巧なプレーは鮮か、若しRH青木もソツのない守備を見せているので安心だ。前半の難関と目された明大を接戦の末破っているの、心配されたFW陣にも自信が持たれようし、後半での試合ぶりが興味を持たれる。LW井上、代表的サウスポ

早大

第一日〇14ー11教大
第二日〇7ー9明大
第三日〇11ー8防大

督のベンチワークのよさは有力な武器であり、今から対芝工大戦の激斗が楽しみである。ただ昨年春秋連敗した中大戦が問題でFWが当りの強いバックスを苦手とするだけに苦しい。ここさえ乗切れれば久々の首位奪還の望み充分である
明大の出足は好調だ。中、早を連破したあたり、昨春一位となった頃を思わせる快調ぶりだが三日目日体を今一步に追い詰めながら破れたのは惜しい。エース添田の卒業とCF浪越を急病で亡くすと云う悲運に今季の明大はあまり高く買われていなかったのだがカムバックした新CF正岡が期待通りの活躍ぶり、これに引きずられて高田、横野らが進境を示して添田の突進力のみ頼った昨秋とは違い鮮かなパスワークを見せている。欲を云えば迫力と云う点に今一步の不足を感じる。バックスは溝淵、佐藤のFB陣と出足のよい坪内、清水、浜岡のHB陣との呼吸もよくこのディフェンスはリーグでも光る存在だ。GK板屋も無難で昨春一位を分けあい、昨年芝浦工大に黒星をつけた唯一のチームだけに今年も打倒芝浦工大の意気は高く、RI浅野RW藤本が調子を出してくれればFWにムラがなくなり優勝戦線に波乱をまき起そう。

中大

第一日〇13ー16明大
第二日〇12ー9教大
第三日〇13ー3慶大

中大の出足は好調だ。中、早を連破したあたり、昨春一位となった頃を思わせる快調ぶりだが三日目日体を今一步に追い詰めながら破れたのは惜しい。エース添田の卒業とCF浪越を急病で亡くすと云う悲運に今季の明大はあまり高く買われていなかったのだがカムバックした新CF正岡が期待通りの活躍ぶり、これに引きずられて高田、横野らが進境を示して添田の突進力のみ頼った昨秋とは違い鮮かなパスワークを見せている。欲を云えば迫力と云う点に今一步の不足を感じる。バックスは溝淵、佐藤のFB陣と出足のよい坪内、清水、浜岡のHB陣との呼吸もよくこのディフェンスはリーグでも光る存在だ。GK板屋も無難で昨春一位を分けあい、昨年芝浦工大に黒星をつけた唯一のチームだけに今年も打倒芝浦工大の意気は高く、RI浅野RW藤本が調子を出してくれればFWにムラがなくなり優勝戦線に波乱をまき起そう。

数えられながら宿望を果せないでいる中大は、今季も緒戦で明大に拙攻して破れ初日から黒星をつけた。中大の欠点は強い相手には強いが弱い相手には案外拙いゲームをすることで、自分のペースを知らぬ試合が多すぎる。そのため大物を食うかわりに取こぼしも多い。明大戦はFB富士、RW平瀬の欠場が響いたのだが、前半4-10とは余りにも出来なかった。それと云うのもFWがCF大脇以外安定感に乏しく、教大戦では平瀬の登場でどうにかまとまったものの石井、田中あたりに調子が出ておらず前評判を裏切っている。井富士のFBとGK磯村のトリオによる最終防壁線の強さはリーグ唯一で攻守兼備のRB井の好技は断然光るが、清水、武田を卒業させたHB陣はRH沢辺を中心に一応ソツはないものの特に強力とも云えない。中大今季の消長は大脇以外のFWの立直り如何にあり、特に日体大戦には自信をつけており、調子づいて大物食いの本領を発揮するようだ芝浦工大とて安心出来ぬ不気味な力を秘めているし序盤戦だけで中大を評価するのは間違いだらう。

教 大

FWに一級品の深美、及川。それに見せるCH高久保、それに木本、桜井のFBコンビはリーグでもA級の実力を持つ守備陣でこれは買える。得点力の成長さえあれば活躍が期待出来るチームだけに無策なFWの非力がよけい目立っている。諏訪、西原、斎藤ら若手FWの拾頭が待たれよう。

防衛 大

見せるCH高久保、それに木本、桜井のFBコンビはリーグでもA級の実力を持つ守備陣でこれは買える。得点力の成長さえあれば活躍が期待出来るチームだけに無策なFWの非力がよけい目立っている。諏訪、西原、斎藤ら若手FWの拾頭が待たれよう。

二 部

立教大(昨秋一部)、法大が群を抜いて強い。両者の対戦によって二部の一位が決することは明らかだが、今のところどちらとも断じがたい。その他では第三日目に東京学芸大が東大を降したのがトピックで、武蔵工大、茨城大、千葉大の近郊勢は他校との実力に差がありすぎる。

各校、若手OBを補強

対ルーマニア四大学の陣容

待望久しかった国際試合がルーマニア選抜軍を迎えて六月下旬から七月上旬にかけて、全国各地で十試合行はれることになったのは別掲の通りだが、このうち、関東の大学チームが四校、単独で対戦するのは注目をあび、日本の大学チームの実力がかを計る絶好のチャンスである。ハンドボール界で日本の単独大会チームが正式な国際試合を行ったのは、過去に昭和十三年九月ヒットラー・ユージェントチームと日体大が対戦した例があるだけである。関東四大学の布陣は次のように予想される。

▼全早大 OBから今春卒業のFW吉田(正) GK鈴木が参加するのは必定。吉田、恵谷、長沢の突進力に長けたFWトリオが再編されよう。この他、かつてのエース五十畑(現庄田)がHBとして参加すると云はれGKF FBを兼ねて活躍した小林や一昨年の主将FW降矢が加ろう。

▼全中大 今春卒業の武田、清水の両HB、サウスボーとして活躍したFW阿部が加り、昨年

の現役メンバーの再現となるのではなからうか。今季の現役が一応の水準にあるのでOBは要所にキャリアのあるベテランを配すと云った形がこのチームには一番ムキそうだ。

▼全日体大 OB、現役のベストイレヴンはそのままだが「全日本」の肩書をつけても異論はないと云うぐらいその実力は高い。OBからの参加はFW竹野、バックスの東、松田ぐらいで、長い間全日本の代表的なGKだった北川も現役GK福田の成長もあり半々程度の出場に終るのではないか。西日本に散るOB勢が加ると荒川監督のメンバーの人選も一つの興味である。

▼全芝工大 昨年の常勝メンバーでやらなければ意味がないと云う声があるほど、注目を持って見られているチームで、その期待通り、メンバーも今春卒業した宮原俊、宮原謙、服部、高井、黒沢、村上のシクステットが颯爽とその勇姿を表わそうまたCFとして国内NO1と云われ近藤も当然加ろう。比較的弱いと云われるGKには今野が参加か。

好調同大、関学の六連覇はばむか

関西

関西学生リーグは去る五日に開幕した。今シーズンから加盟校の増加にしたいが、前シーズン二部の上位にあった大阪府大と甲南大が一部に上って八校となり賑やかになったが、優勝争いは相変わらず、常勝関学を中心として関大同大の三強にしばらくおぼろげに、関学の六連覇なるか、好調同大が久々に宿望を遂げるか、黒馬関大の健斗で昨春同よう三校同率の大接戦となるか、興味はここらあたりにある。第一週を終って一部各校の陣容を打診してみた。

関学

関学も前ほどではなくなったと云う見方をする人が最近では多くなり、名門関学には残念な言葉だろうがしかし、学生王座を六年連続した頃の快攻快守が十年も続くワケはなし、余りにも過去の実績と名声が輝やかかったばかりに評される言葉だと思つてよい。事実は昭和三十一年秋以来五連覇、東の芝浦工大と好一对の無敵ぶりで相変わらず西の横綱の貫録は充分である。今年は四月末の関西学生トーナメント決勝で同大に初の不覚を喫して破れ「春に弱い」ところを

のぞかせたがFW日向、HB富川GK小河と学生界を代表する名手を要所に配した布陣は春季リーグ優勝のNO1候補にあげてはばからず、特に従来の遅攻に関東流の速攻を加えたチエンヂ・オブ・ペーイスはマネ手がなく、昨年の学生王座で対芝浦工大との後半に見せた速攻は日本一と云はれる芝浦工大のそれと比べて見劣りするものではなかったし、エース日向と市場、宮地らのコンビネーションもよく一試合コンスタントに十五点は入りたいと云う意欲も期待出来る。この攻撃力以上に強力なのが富川、小河を主柱に湧永山淵のFBコンビと安原、村田らで組むデイフェンス陣で、おそらく学生界では日本一と云つてもよい堅守である。危惧はFWからコンバートの村田だが、富川のリードは定評があり心配はいるまい。緒戦で甲南を19-9と軽く屠つて好調な滑り出しである。

同大

関学に対して自己共に許す対抗馬で昨年のメンバーからCF内田を卒業で失ったのは痛いのが今藤、石橋のFWと神前、中島、中江のHBトリオが健在。GKの中を含めてこの守備陣の対関学研究は注目される

ところであり、春のトーナメントで関学を破った自信も大きい。ただ今藤がマークされるとボールの廻転が鈍く第一日に府大に苦しめられており石橋、植野あたりの奮

関西学生春季リーグ戦（一部）日程

5月5日(祝)	学一甲	同—府	関—神	京—立
5月15日(日)	関—立	甲—同	学—府	京—神
5月21日(土)	関—府	京—甲	学—立	同—神
5月29日(日)	同—立	府—京	関—同	京—学
6月5日(日)	立—府	神—甲	同—京	同—学
6月11日(土)	立—神	府—立	京—京	同—学
6月12日(日)	甲—府	神—立	関—京	同—学

注……学＝関学、府＝大阪府大(何れも西宮第一球場)

起がないと苦しくなる。バックスは水沢が抜けただけで呼吸もあつており、特にそのHB陣は関西学生界のピカイチである。対関学戦は早くも激斗が予想されているが、気力負けさえしなければ、久々の

優勝が充分可能な戦力である。

関大

関学、同大の間隙を狙って虎したんたんなのがこの関大である。エース高村を筆頭にして松田、寺田、江尻らのFWは最近、豪快味に加えて巧味を増して来ており、ダークホースである。関大の欠点は得点力もあるが失点も多いことで、思はぬ相手に苦戦する例がしばしばあり、昨秋も京大に足もとをすくはれてはいる。無キズで終盤戦に進入するようだと、優勝戦に進入するようだと、優勝戦線は昨春同よう、三強のつぶしあいとなり、面白いことになる。不安はバックスでリーダー山田とGK範囲を失つておりFBの熊本、HBの中村らのごとこまでやるかが問題だ。しかし、勝負がもつれ込んでくると高村と云う絶対の決め手を持つてい

京大

メキメキ腕を上げている近年の京大の躍進ぶりは驚異的で昨秋は遂に関大を食つて三強に列したホドで、常用する徹底した遅攻戦法は昨夏の全日本学生で芝浦工大を苦しめ高島冽氏(協合理事長、芝工大監督)をして「堂にいった遅攻だ、鮮かできえある」と云はしめた。

立命大

古い球歴のチームであり乍らこのころパツとせず最近では下位を低迷して昨秋は遂にテールエンドとは淋しい。前半はとも角、後半にモロさが表はれるのは体力と気力に欠けるからで奮起が望まれよう。卒業の痛手は比較的少なく、特にバックスは堀田を欠いただけでまともになりがあり、今シーズンはカムバツクに絶好のチャンスだと云はれ乍ら、第一戦で無気力な試合ぶりを見せて京大に大敗しており、今シーズンもBクラスを返上すること

たFWは福田、西田、小野田、野間、五十棲が第一線でキヤリアに不足があるワケでもないのだが、勝利に対する粘りが無い。守備の中心はGK吉田、佐々木、横畑の両FBあたり。とも角、攻守にすこみが全然感じられないのは、かつての立命館大にはなかったことである。このままでは関学など上位校にますます差をつけられてしまふだろう。

神大

第一戦で関大と当り12-14と破れたものの神大侮れずを印象つけた。殊に後半は押し気味で、今後の試合ぶりが注目される。これと云った選手はいないが、昨秋の東西対抗で一年生ながら西軍に選ばれたFW花林を始め東出、西本、天野らが健在でこの攻撃陣はスケールこそ小さいがまとまっておりバックスもC日石橋を卒業させたのは響くがFB立花、GK根岸が進境を

甲南大

一校の増加で29年春以来冬の昇格を遂げたが、部歴は古く、なかなかの名門である。しかしこれまでは、攻守にアンバランスで十シズン以上も一部入りを果せなかつた。今季どこまでやるかは全く未

府大

甲南大と共に今季から一部に加つたの

知数だが、一部の強豪を相手では少々荷が重そうだ。カンパック第一戦では関学に前半で勝負を決められており攻撃力、守備力とも未だしの感がある。川副、松田を主力のFW砂堀をリーダーとする。バックスが、リーグ戦が進むにつれどこまで整備されるかが見ものだ。卒業したGK青野の穴が埋っていないのは何としても痛い。

新シーズンの開幕で、全国各地のハンドボール界も活況を呈しているようだが、全日本学生ハンドボール連盟も新しい抱負と心意気を以って今シーズンの開幕を迎えました。今年の学連がやりたいことと云いますと、一体どれから先に云ってよいやら判らぬほど多く、果していくつ、どれだけその念願通り達成されるかは判りませんがとも角も「限りなき前進」を合言葉に、旧年ますますの発展を目指して歩んで参りたいと思ひます。

全日本学連今年の抱負

特に心がけたいことは四年後に控えた東京オリンピック・ハンドボールの日本代表として松舞台を踏むべき選手はこの学連を母体として選りすぐられた者が、その多数をしめるのでないかと考えられるだけに、学連としてもあらゆる思考をめぐらせて日本を代表するに価する選手の育成に努めて参らねばなりません、本部協会でも全ての面におい

中沢重夫

(関東学生ハンドボール連盟理事長)

を擁す学連においては、その内部において選手に対する最も能率的な有効な指導をなして行くべき指導者特に各大学の有能なるOBの集りが出来たら非常に価値あるものと考え、この集りにおいて、全ての面についての究明をなし選手の強化策や、そして四ヶ年では短いかもしれま

てその力を総動員してこれにかかつて居る事と思ひますが、我々学連でも、「日本ハンドボール界における技術の最高度のものを開はせて居る」と考えてもよいこの大学のプレーをより一層その内容を高め、又深く究明するべく努力していかねばならないと思ひます。これ等選手

せんが、そのかたい地盤の上に成り立つた選手が育成出来たら、などと大それた夢の様な事も考えて居ります。幸にして近々世界選手権第二位のルーマニアの来日が決定。学連関係五チームが対戦し世界のハンドボール界の様子を知るにも又学ぶにも非常によい機会の到来を得てい

ます。また、毎年種々と問題が提起されてくる審判上の問題も専門部会を設けて研究を行い、同時に豊富な人材の養成にも心掛けたいと思ひます。最後には是非実現させたいのは地方大学勢と都会の大学

チームの密接な交流です。新しい大学チームの誕生へも力を注がねばならないのですが、地方大学チームが万難を排して全日本学生選手権に参加され、その他出来る限り中央ハンドボール界の大学チームと手合せする機会を作つて貰いたいと切望します。

だが、ラッキーな昇格とは云え初の一部入りでイレブンの張り切り方もすこく、前哨戦のトーナメント大会では進決勝まで進み、リーグ戦でも緒戦で優勝候補同大に互角の勝負を挑み、11-12と一点差で惜敗すると云う善戦ぶりだった。川瀬、根宮のFBコンビと定評のあつたFW仲が卒業しているがGK辻本、C日日光、FW妹背瀬恒と要所に巧手を配しており、なかなかソツのない試合ぶりを見せている。前半戦で自信をつけるようだと、二-三勝が期待出来る。府大としては上々の首尾をあげることになるのだが……。

▽関西学生リーグこれまでの成績

▽第一日(5月5日・西宮)

関学	19	(7 12)	9	甲南大
同大	12	(8 4)	11	大府大
関大	14	(6 8)	12	神大
京大	14	(8 6)	6	立命大

▽第二日(5月15日・西宮)

関大	18	(6 10)	8	立命大
同大	17	(7 10)	5	甲南大
関学	14	(6 8)	3	大府大
京大	12	(8 4)	9	神大

学生シーズン・幕開く

同大、常勝関学を破る

関西学生春季トーナメント

関西学生春季リーグ戦の前哨戦として第八回を迎えた今年度の関西学生トーナメントは四月十六日から西宮など四グラウンドで関西学連十五校が参加して行なわれた。

▽一回戦

甲南大 不勝戦 大工大 (一部)

関大 (一部) 14 (9 | 5 | 4 | 7) 11 京大 (一部)

立命大 不戦勝 大阪学芸 (一部)

阪大 (一部) 20 (10 | 10 | 1 | 5) 6 大工大 (一部)

同志社 (一部) 19 (9 | 10 | 1 | 7) 8 神大 (一部)

大歯大 (一部) 10 (3 | 7 | 6 | 3) 9 桃山大 (一部)

府大 (一部) 8 (6 | 2 | 2 | 3) 5 大工大 (一部)

▽二回戦

関学 12 (5 | 7 | 1 | 5) 6 甲南大

関大 12 (6 | 6 | 4 | 4) 8 立命大

大府大 11 (7 | 4 | 5 | 4) 9 大歯大

同志社 17 (8 | 9 | 6 | 2) 8 阪大

▽準決勝

関学 13 (8 | 8 | 4) 10 関大

同志社 15 (6 | 1 | 4) 7 大府大

▽決勝

中京大、東海学生の王座に

【後記】第一回大会以来、この大会で無敗を誇っていた関学も八連覇を目の前に遂に同大に惜敗した。同大は準決勝の後半に関大の食い下りを許し苦戦した直後で疲労の色をかくせなかったのも事実であった。この二校と関大の実力は紙一重で、これに曲者京大と立命大のからむ今春の関西学生リーグ上位陣の充実が熱戦を期待出来る前哨戦の役を十分に果たしたトーナメント大会であった。

第七回東海学生春季ハンドボール選手権大会は五月一日から三日

間、岐阜大グラウンドで行われ滋賀大(滋賀)を加えた東海地区の

八大学が参加したが、予想通り、中京大が圧倒的な強味を見せて優

勝した。なお、これで中京大は今春一月の東海学生室内に続き、東

海の二大学生タイトルを得たことになる。

▽Aグループ

岐阜大 10 | 5 名古屋工大

中京大 24 | 5 愛知学芸大

中京大 22 | 2 名古屋工大

愛知学芸大 5 | 4 名古屋工大
岐阜大 10 | 6 愛知学芸大

▽Bグループ

滋賀大 14 | 9 三重大

名古屋工大 21 | 1 名古屋大

三重大 12 | 9 名古屋工大

名古屋大 11 | 5 滋賀大

溶賀大 8 | 3 名古屋工大

名古屋大 16 | 4 三重大

滋大、名大は同率ながら名大が滋大を破っているのが上位となり、この結果中京大と名大の間で優勝戦が行われた。

▽決勝戦

中京大 23 (9 | 1 | 1) 3 名古屋大

昭和35年度主要大会日程

- ▽対ルーマニア国際試合(6月12日~7月3日) = 詳細は本誌2頁参照
- ▽第3回全日本学生選手権(7月13日~7月17日・東京)
- ▽第11回全日本高校選手権(7月31日~8月4日・倉敷)
- ▽第12回全日本(男子)総合選手権(8月10日~8月14日・秋田県大曲市)
- ▽第12回全日本(女子)総合選手権(8月10日~8月14日・秋田県湯沢市)
- ▽第3回全日本教育選手権(8月19日~8月21日・東京)
- ▽第15回国民体育大会ハンドボール競技(10月26日~10月31日・熊本県水俣市)
- ▽第4回全日本学生王座決定戦(11月27日・西宮)
- ▽第7回全日本総合(男・女子)室内選手権(36年1月上旬、東京又は静岡)

- ▽第1回全日本教育系大学選手権(期日未定・東京)
- ▽第1回全日本実業団選手権(期日未定・名古屋又は東京)
- ▽関東大学リーグ戦(駒沢)
春季=5月8日~5月29日
秋季=10月16日~11月6日
- ▽関西学生リーグ戦(西宮)
春季=5月5日~6月12日
秋季=未定
- ▽第10回学生選抜東西対抗=予定(11月27日・西宮)
- ▽その他、東西大学各定期戦、第8回早慶定期戦(9月9日 国立競技場ナイトゲーム=予定)
- 第10回西日本大学大会、第3回東日本学生選手権(11月12日又は13、名古屋=予定)第4回国立六大学選手権大会など学生界恒例の大会が予定されている。

全国各地区

今シーズンの展望

＝各県別有力チームの紹介・特集＝



(両陛下ご観戦の栄に輝いた昨年の国体)

薫風五月を迎えて地方ハンドボール界も日毎に活況を呈し、今年には見られぬ華かな話題に賑わっているようだ。そこで本誌では全国道府県協会の御協力を得て、各地方毎に全国36地区の今年の有力チームを探って見た。

(編集部)

北海道

昨年の国体一般男子で函館サンダー倶が芝浦クラブ(東京)を破ったのはニュースだった。これを見て北海道のハンドボール界の實力がいかに悔い難いものであるかが充分判り、かつて全国高校の優勝校函館工を生んだ函館を中心にして今年も国際試合を行うなど活潑な動きが見られる。しかし、函館以外のチームはやや取残された感じで、道ハンドボール界の眞の発展は函館以外の地区の強化如何にかかっていると云えよう。今年も道内の主導権は函館サンダー

東北

近年、東北におけるハンドボール熱の昂揚と斯界の躍進ぶりは目を見はらされるものがあり、特に今シーズンは六月に仙台でルーマニアを迎えるの国際試合

(対全宮城) 八月には秋田県下で第十四回全日本総会選手権が開かれることになっており、ますますその発展は急カーブを描いて高まるものと思はれる。昨年の国体で高校女子で二位になったのを始め各部門に健闘し皇后杯得点で一位天皇杯得点では大阪、福岡、熊本について四位を得た宮城県は女子と高校に好チームが多く昨夏インター・ハイを開催してからはそのレベルもかなり上つて来ている。高校男子では仙台二高、仙台一高、仙台商の仙台勢と古川高が有望。女子は高校、一般とも全国に名をはせている涌谷高が現役、OGとも今年も攻、守に安定しており、時にOGは全国優勝を目指して強化に懸命である。

これに対し、一般、大学チームはやや中央勢に押され気味で僅かに東北学院大と全宮城が目立つ程度である。全宮城がルーマニア戦の経験を活かして全日本などで調子よくようだと面白い。秋田県では今夏の全日本総会の開催に大変な熱の入れよう、一般男子の湯沢クラブや一般女子のオール秋田等が期待される存在。高校界は男の湯沢高、女子の秋田和洋女子高がA級で、その他、全日本開催を機に、県下の審判員の養成強化を目指す等意欲的なところを見せている。青森県は一般男子の青森クラブが充実したメンバーを揃え

北関東

ており、これまで遠隔のため参加が難しかった全日本にも今年は出場の機会を得ており活躍が待たれている。高校、大学界では青森高、弘前大のそれぞれ独壇場。福島県に目を移すと今春の全日本室内で男子の福島クラブが一応の戦績を残したため県内の各チームも意を強くしており、一般男子の安積クラブ、一般女子の福島クラブ、大学界の福大芸学部などは全国的なレベルに近付きつつある。高校界は男子が安積高、福島高の争いでいる。若手県は相変わらず一般男子では白亜クラブが強い、高校男子も盛岡一高が今年も強力なチームを編成しているよう、この男子両チームは全国的な大会に出ても恥ずかしくない實力を備えているが、女子はいささか低調で特筆すべきようなチームがない。大学チームは岩手大一チームのみで他県との積極的な交流が望まれている。

底にして北関東のハンドボール界は育つて来たのだが、それらの名門校の先輩の絶ゆまぬハンドボールへの情熱が国際試合を迎えるまでに実つたのだと云つてもよいだろう。群馬県は伝統の桐生が一般の桐生クラブに面影を残すのみで高校男子の天下は富岡高、前橋商に握られている。女子は高崎市女高、高崎女高、富岡高がベスト3

一般は男子が前記の桐生クラブに富岡クラブ、女子は高崎勢のOGが元気なプレーを受けている。

栃木県は足利勢が名門らしく他の地区を圧しており、今年もその天下が続きそうだ。すなはち一般男子の足利球友会、高校男子の県立足利高、一般女子の足利女高OGと云つたチームがそれで、足利高は25年第一回30年第六回と5年おきに全国大会で決勝に進んでおり、今年は丁度、三回目の5年目縁起の良い年廻りである。足利勢の対抗は石橋高、烏山高。高校女子は全日本総合室内で健斗した栃木女子高が断然たる強味を誇つており期待がもてる。茨城県は高校ハンドボールの盛んな所として知られ、特に女子の北海道二高は第八回全国高校で優勝を経験している名門。今年も同校を中心に太田二高、笠間高、岩井高が県のビッグ4、男子では石岡一高、麻生高の常勝チームに土浦工、真壁高あたりが肉迫している。一般では茨

大クラブが東京チームとの交流も多く水工クラブ、石岡クラブ、麻生クラブ、笠間クラブ等と共にA級にある。一般女子では古豪海道二高クラブが健在だ。

東京

大学チームに全日本のトップ級が並んでいるのは他のスポーツと同じだが、どうも一般チームや高校界、女子界はパツとしない。その中で新生大崎電気の登場は注目してよいものがありその他三田クラブ(慶大OB)芝浦クラブ、旭桜クラブ等今年は例年になく大学OBを主体にしたチームが張切つており一般男子の充実ぶりが目立っている。高校界は男子神代、明星学苑、都二高、世田工が相変わらず強く女子は二商、井草に代つて桜水高が最近頭角を表はし始めている。

南関東

千葉、埼玉が一、二のチームを除いては全般的に不精彩な南関東では神奈川県が一般、高校界とも群を抜いた活潑さだ。それを代表しているのが高校男子の鎌倉学園

一般の全神奈川の活躍ぶりである。鎌倉学園は昨年全日本、国体で優勝戦に進み中京商(愛知)と

共に高校界の竜虎と云はれたチームだが、その実力は今春の全日本総合室内で大学、一般クラブに伍してヒケをとらぬ活躍を遂げて一躍全国フアンの注視を一身に集めることになったが、今年も関東学院、法政二高あたりの実力が上ったとは云え県内一の座は揺がな

い。一般チームは陸上自衛隊、三春合クラブ、全鎌倉あたりがA級だが、全神奈川と云う県下のビッグアップチームが別であり、メンバリーが揃えばこのチームが文句なく強い。しかもルーマニアとの対戦が決定しており全国有数のクラブチームに全神奈川が成る日も近い。男子の活況に比べ女子は一般高校とも非力。埼玉県は高校チームの強化に熱を入れてるのが特色で男子では大宮高、浦和高あたりがまとまりを見せ、女子では熊谷商工、熊谷女高が粘り強いものを持つている。一般チームは未成熟の感が否めない。千葉県では東京に近接しながらこれと云つた話題がない。協会自身の若さによるものだろうが千葉大の関東学連への加盟などあり今後の活動に期待をかけた。

山静

静岡県は昔からハンドボールの盛んな所で、その中心勢力であった清水商(高校男子)静岡城北高

(同女子)城北クラブ(一般女子)と云つた名門は、今年も一こう力が劣えず、それぞれの部門で全国優勝さえ狙える実力を備えている。一般男子は県下の両横綱清水クラブと清水橋クラブが互角の戦力を誇っており、甲乙何れともつけ難い。県下精鋭をビッグアップして全静岡がスムーズに編成出来たならそのチーム力は全日本での黒馬に推して充分である。一方の山梨県は静岡への対抗意識が好結果を呼んで高校男子の塩山高、日川高などは全国でも上位に指折れる好チームになっており、高校女子でも山梨高が期待の持てる存在だ。一般では高嶺クラブ(男)と梨窓クラブ(女)が強そうだが、山梨の一般女子の伝統は古いものがあり、今年あたり昔日の面影を偲ぶに足る強豪が出てくれることを望みたい。

東海(三岐)

ハンドボール王国愛知県も昨年の台風被害で一時は後退したが、流石に古豪、強豪相乱れる地区だけにその立直りも早く、今春の全日本室内女子で愛知紡績が二位になったのをノロシとして、再び昔日の隆盛に近づいているのは結構なことだ。ルーマニアを迎健在

えて国際試合が予定されるのも愛を全国に示威するに充分だ。特に

高校界は近年「全日本で勝つより愛知で勝つ方が難しい」と云はれるだけあって昨年のNO.1中京商以下桜台高、端陵高、豊橋、時修館、岡崎工など名門が並んでいる。女子は相変わらず半田高と稲沢高以外は力不足。一般は男子の桜丘会、女子の愛知紡績の王座はここ当分動きそうもない。なお学生界の黒馬中京大がますます好調のようだ。三重県は四日市勢の拾頭が注目され高校男子では四日市工、四日市商の争い女子では四日市高が他を僅かにリードしており、津高にも好選手がいる。一般女子では鶴森クラブ、大学では国立三重大がある。岐阜県は大垣地区の躍進が盛んで、高校男子の岐阜工、岐阜商を除いては各部門とも上位は大垣南高系のチームで占められている。高いレベルを持つ愛知と連がりながら岐阜勢は以前から華かな活躍を示さないのは何処に原因があるのだろうか。

北信越

北信越ハンドボール界の発展は東北と並んで近年刮目すべきものがある。その中心は富山県で先年のドイツでの国際試合で全富山が善戦を見たのは記憶に新しい。それに一昨年国体を氷見市で開いてから一般の関心も高まり好チームが目立って増えて来た。高校界

は男子は氷見高が今年も相変わらず強く、女子は富山女高、有磯高、高岡商など強者が並んでいる。一般は男子が富山クラブ、大山町体協と云ったクラブチーム、女子は氷見クラブ、富山OG、有磯OGなど。石川県はかつて小松高や羽

昨高を擁して全国女子高校界では水準以上の地区だったが近年は富山勢に押され気味だ。今年は高校男子では小松実業高を筆頭に津幡高、金沢泉丘、女子では名門羽

高や小松高と並んで金沢勢に期待がかけられる。一般は女子の石川クラブ以外、男女を通じて好チームに乏しい。長野県は昨年から県総合選手権を開くなど活況にな

って来て、これまで一昨年の全日本高校で上田高が四位だった以外は大した実績がなかっただけに今後の動きが注目される。男子は一般の浅陽クラブと上田クラブがリ

ーダー格で高校は北佐久農高、上田高、屋代東高、女子は一般が上田クラブ、高校は男子と並んで北佐久農高がいい。長野県のチームに望まれるのは中央大会への積極的な参加であろう

この他福井県が今春既に県下指導者講習会を開き、着々準備を進めている。協会への正式加盟もはや時間の問題であり、その躍進が期待される。

大阪

大阪は兵庫と並んで日本ハンドボール界のトップゾーンだけに今年も話題豊富である。大学界の消息は他稿にゆずるとして一部男子で団体優勝の名門大阪クラブを筆頭に女子ハンドボール界の老舗

寝屋川も健在。高校男子では桜塚高、高津高、三国ヶ丘高と云った所が上位校、女子は豊中高大谷高岸和田がAクラスである。また昨夏

の全日本で4位となった一般男子の豊陵会は質量とも申し分ないメンバーで全日本に今年も出れば優勝有力候補の一である。

京滋及近畿

京都は京大、同大の二つの大学チームが実力とみに上げており、これが京都ハンドボール界のレベルを引上げ活気のある動きを見せている。高校男子では伏見高、平安高、洛星高、洛東

高が実力伯仲、一般男子は京都クラブが他を抜き放しており、全国的に見てもレベルはかなり高い。女子は高校一般とも京都女子高と同OGが抜群である。滋賀県はハ

ンドボール界では陽の当らぬ場所。しかし今年あたりは滋賀大の充実もあり県内諸チームに刺激を与えれば彦根勢を中心にとまり

はあるだけに徐々にでもそのレベルは上向きとなる。高校では過去に全日本に出た経験のある八幡商(男)、彦根東、彦根西(以上女)が今年も強い。奈良県は高校、一般とも近年あまりパツとした成績をあげていず低たい気味だが、その中で教員チームの興東クラブが昨年、一昨年と二年続けて全日本教員選手権の決勝戦に勝進んで一人気を吐いている。今年も県内で全国A級の實力を持つチームはと云えばこの興東クラブぐら

いのもであろう。和歌山県は大阪に近接しているが相変わらず各部門とも那賀系チームの独り舞台である。那賀に好敵手が生れない限り和歌山全般のレベル向上は望めないのではない。男、女とも伝統のある那賀高が全日本高校で今年はどこまでやるか、それだけが興味である。大阪としのぎをけ

ずっている兵庫は一般男子の神戸クラブと学生界西の横網関学を中心にして古い伝統を誇っている地区だが、一般高校界は強チームを揃え乍ら「全国優勝」には不思議と縁がなく、その方はもっぱら関学に委せきりである。神戸クラブや高校男子の兵庫工は充分、全国一、二を競うに足る實力を持つ

ているのだが試合運に恵れないのは惜しい。女子は尼ヶ崎勢が強く一般では尼ヶ崎クラブ、高校では尼ヶ崎高が他チームを引き放して

いる。

四国

愛媛県のハンドボール界を代表する新居浜勢が、今年も高校男女、一般女子の上位を占めており一般男子では実業団ハンドボールではすでに古豪になった住友化学菊本が強そう。高校男子の新居浜工は近年非常に秀れた選手を生んでおり昨年も全日本高校、団体

高校ともビッグ4に残って全国優勝への地固めをしており今シーズの成長ぶりが見ものである。その他では今治西、松川工等が有力。高校女子新居浜東と新居浜西の争い。高知県では中央からコーチを招いて県内全般のレベル向上を目標にしたいと云う県協会の方針が

明らかにされており、さし当っての全国的な強豪は各部門とも少いが将来はこの熱意が必ずや実るものと思はれる。各部門の県内のトップチームは一般が男女とも高知クラブ、高校男子が土佐高、高校女子が高岡高と云う定評である。香川県は高校勢がよきそうで高校男子で全日本高校へ三年連続出場を狙う坂出工も樂觀は許せない。高松勢の主力は古豪高校一高で、一般でもこのOBは強い。女子に好チームが少ないのは淋しい。

中 国

岡山、広島、山口とハンドボール界の名門地区が並んだところは、地区対抗をやれば中国地方は全国的にも一、二を争うほど、各県に散る好チームは数多い。特に山口県は、今シーズン高校男子各チームの實力が接近しており、特に徳山高、下関西高、下松工、下関幡生工の四校はこの何れもが全国大会に出れば全国上位にランク

される強力校と云うのだから壯観である。高校女子は徳山高が他をリード、一般女子でも徳山のOGが自他共に許すNO1である。一般男子は強豪山口クラブが今年も独走の形で、全国的な大会での健闘が期待される。大学では山口大が着実に伸びており全日本学生での試合ぶりが興味深い。広島県は高校男子の進商がホープだ。昨

年は試合運に恵れなかったが、国体で鎌倉学園(神奈川)と演じた激斗は印象的な好試合で、インタハイの黒馬的存在と云えよう。この他、一般男子では三菱レイヨ

ン、高校女子では山陽女子高、三津田高、大学では広島商科大がそれぞれ県内にニラミを利かしている。岡山県は伝統的に見ると女子のレベルが全国水準の上の部にあって全日本高校や団体一般に全国優勝の歴史を持っているが近年は

今年のハンドボール界は話題に恵れている。

六月に來日するルーマニア選抜軍との国際試合をピークとして、国内的には芝工大を巡る全日本選手権の争覇、男子高校界の躍進ぶり、女子界の充実、実業団選手権の開催など、史上最高の話題に賑ったと云はれる昨シーズンをはるかにしのぐ活況が早くも予測されている。

国際試合に関しては稿を改めて触れる時があると思はれるのでここでは省略し、国内行事を中心に今シーズン話題をとりあげて見よう。第一に芝工大を巡る全日本選手権の争覇だが、昨シーズンのベネチアチームが挑んで果せなかった打倒芝工大のスローガンは今年も引続いてかけられ、ますます激れつ度を増そう。殊に芝工大の連勝記録をストップさせるのは日体系以外に志満々と云はれているだけに互いに斗志満々であろう。日体系以外に芝工大を破り得るチームを全国に求めれば関東学生界よりむしろ関西、同大と云った関西勢であろう。殊に関西は一年前の学生王座では劣勢を噂されながら見事予想をくつがえして王座につき、改めて名門の地力を認識させた実績があり、西の横綱の貫録は充分である。この関西に優る布陣と云はれる今シーズンの同大の拾頭も注目してよい。その他、全国のAクラスと目される全明大、豊陵会(大阪)桜丘会(愛知)大阪夕、大崎電気(東京)らも、機会を待つて芝工大から王座奪取を狙っており、これらの角逐は見応えのある

焦点!! 芝工大を巡る争覇

=今シーズンの話題をひろろ=

軌道にのるか実業団球界

試合を展じよう。中でも大崎電気は昨年の芝工大のメンバーが中心となつていてチームだけにこの対戦はさぞかしスタンドの話題を賑はそう。大崎電気のメンバーは自ら樹てたレコードを自ら崩壊すると云う皮肉な結果にもなりかねない。

一方、高校界、特に男子の充実は近年目覚ましいものがあり、地方高校チームの指導者の熱意あるコーチは日本のハンドボール界の屋台骨を支えるまことに偉大な力であると云はねばならない。特に今年には国体の高校男子チームの参加のワケが大巾に広げられたのは朗報で、協会のこの措置は誠に当を得た良策と云いたい。

こうした動きに比して女子界の最近はやや精彩を欠いている。これは女子のハンドボールが七人制に統一されたため、絶対数に限りのあるコーチの不足が原因している。しかし七人制の普及は昨年あたりから急カーブを描いており女子界の充実も近い特果果されるだろう。だが女子の試合数(大会数)の増加はもう少し考えられてよいものがあり、日本大を始め女子大学チームはリーグ戦もなくその点、男子より数段不遇である。

実業団ハンドボールが軌道にのりつつあると云うニュースも嬉しい。すでに全国で十チーム内外の実業団チームがあると聞いているが日本のハンドボール界のこれから伸びる道として実業団は無二の道であり、どうかかけ声ばかりに終らず、立派な成果をあげて欲しい。(黒尾武)

男子高校界に見るべきものが多し。今年も昨年の全日本高校でベスト8に残つた津山商を中心に操山高、天城高がA級。一般男子は岡山球友クラブ。女子は倉敷勢と名門青陵高、それに井原高あたりが有力。一般もこれらのOGクラブが強い。

九州

九州のハンドボール界の中心は昨年あたりから、はつきりと福岡から熊本に移つた感がある。それほど熊本県の最近のハンドボール界の充実は特筆すべきものがあり、特に女子は高校で熊本市高が夏の全日本(二連覇)秋の国体と完全優勝。一般でも熊本クラブが今春の全日本総合家内に優勝。愛知紡績(愛知)に夏の全日本総合の雪じよくを遂げているなど我々の女子ハンドボール界の王国になつたと云つても過言ではない。今年の県内を展望すると男子高校では昨年話題を博した熊本市商を中心に古豪済々、熊本市高が三強。女子は菊地農畜高、熊本市高の争覇がみものだ。一般は男子が熊本教員クラブ、済々豊OB、熊商大など、国体が今年は地元(水俣市)で開催される関係もあり今年こそ天皇杯得点で一位と云う意欲はすさまじいばかりだ。福岡県は熊本勢打倒を目指して斗志を燃

次号予告

七月初旬発売

- ★国際試合総観戦記
- ★国際試合を終つて(座談会)
- ★東西学生春季リーグ回観
- ★第二回全日本学生選手権予想
- ★連載 高校生のためのハンドボール教室
- ★連載 中学生のためのハンドボール教室
- ★第十一回全日本高校第十四回全日本総合の話題・他
- ★定価 一部五十円

昭和二十四年度主要大会成績総覧

★★★
女高学一
子校生般
のののの
部部部部

一般の部

▽第十一回全日本総合選手権
(8月13日) 17日熊本県水俣市

▽一回戦 芝浦ク22-4熊本高
明大17-16熊本商大 全明大20-1

7天草高ク 芝工大33-1四日市
商 熊本市商12-9聖ポール俱

中大不戦勝大山町体協
▽二回戦 全日体大15-10芝浦ク
明大21-14天城高OB 全教大19

18小倉工OB 全明大15-12西
日本日体OB 中大16-8旭桜ク

芝工大17-15桜丘会 豊陵会19-1
12山口クラブ 熊本市商13-10西
南クラブ

▽一回戦(追加)
天城高OB12-11住友化学菊本

豊陵会15-11福岡クラブ 山口ク
ラブ27-13水俣クラブ 全教大15

14済々黴OB 西南クラブ26-1
6鹿兒島工 旭桜クラブ不戦勝福
岡工クラブ 桜丘会32-5玉名豊

高OB
▽準々決勝
全日体大22(913)3 明大

豊陵会22(1210)87 15 全教大

全明大 19(109)46 10 熊本市立

芝浦工大 15(87)36 9 中大

全日体大 23(149)126 18 豊陵会

芝浦工大 24(131)118 16 全明大

▽三位決定戦
全明大 18(711)79 16 豊陵会

▽決勝戦
芝浦工大 18(810)105 15 全日体大

本藤口上沢井藤部田藤俊
【芝尾田村黒高佐服山宮宮

原原 36 20
GK FB HB FW ST FT

体川口田島田 野西野山口
日保久豊松 竹大山福井

交代II(芝) FW塩川 GK鷹見
(日) FW山下 GK福田

▽第二回全日本教職員選手権
(7月8、7日駒沢)

▽予選Aブロック 茨城18-16長
野 京都27-19長野 茨城21-17

京都
▽同Bブロック 奈良興東俱18-1

15静岡 静岡29-10大阪学大OB

興東35-19大阪
▽同Cブロック 東京22-13広島

東京22-11高知 広島15-12高知
▽同Dブロック 山口ク36-10栃

木 山口38-15三重 栃木24-8
三重

▽決勝トーナメント
東京教員 18(126)17 16 山口ク

奈良興東 24(717)107 17 茨城教員

▽三位決定戦
山口ク 18(810)58 13 茨城教員

▽決勝
東京教員 22(111)110 17 奈良興東

▽第十四回国民体育大会一般
の部(10月25日) 30日駒沢

▽一回戦 函館サンダー21-8熊
本教員団 桐生クラブ14-10住友

化学菊本 山口クラブ17-14全宮
城 福岡クラブ18-6全茨城

▽二回戦 函館サンダー9-7芝
浦クラブ 京都クラブ23-13青森

クラブ 清水商クラブ14-11岡山
球友 全富山12-11桐生クラブ

大阪クラブ17-13山口クラブ 全
神奈川21-6讃岐クラブ 神戸ク

ラブ13-10上田クラブ 全茨城不
戦勝桜丘会

▽準々決勝
函館サン 14(125)6 15 京都ク

大関ク 11(29)53 8 全富山

清水商ク 13(67)45 9 全神奈川

大関ク 6(022)22 5 神戸ク

福岡ク 17(89)45 9 清水商ク

▽準決勝
函館サン 21(535)8 15 福岡ク

大関ク 16(211)94 15 福岡ク

▽三位決定戦
清水商ク 17(89)76 13 函館サン

大関ク 17(89)76 13 函館サン

▽決勝戦
大関ク 17(89)76 13 函館サン

大関ク 17(89)76 13 函館サン

大関ク 17(89)76 13 函館サン

大関ク 17(89)76 13 函館サン

大関ク 17(89)76 13 函館サン

大関ク 17(89)76 13 函館サン

鳥月 川藤江岡向田中西
阪大 東 宮佐深丸日村村今

大光望 宮佐深丸日村村今
GK FB HB FW(荒川)

館川中田崎橋 本岡田分川
【函】北田松宮三 山正山国皆

29 ST 40
3 14MT 3

学生部の部

▽第二回全日本学生選手権大
会(34年7月1日) 5日西宮

▽一回戦 同大10-6中大 東北
学院10-8神大 大阪府大9-7

順天堂大 教大12-7名大 法大
14-3大阪歯大 阪大13-12中京

大 立大7-5甲南大 明大不戦
勝山口大 関学16-5慶大

▽二回戦 芝工大16-10同大 早
大12-1東北学院 京大14-10大

阪府大 教大17-11立命大 関大
14-5阪大立大11-9法大 明

大 24-5大阪工 関学16-8日体
大

▽準々決勝
芝浦工大 19(811)35 8 早大

京大 8(26)33 6 教育大

明大 20 (1010 | 18) 17 立命大

(明大10勝2敗)

▽第九回(6月7日京都洛星高)

同大 24 (1212 | 7) 11 立大

(同大5勝4敗)

▽第七回(6月7日東大)

京大 13 (7 | 15) 7 東大

(京大6勝1敗)

▽第六回(6月13日小石川)

慶大 9 (4 | 13) 8 甲南大

(慶大6勝)

▽第一回(6月14日小金井)

東京学芸 13 (8 | 15) 6 武蔵工大

▽第十四回(6月27日西宮)

関学 14 (10 | 4) 12 早大

【関学】

河永淵原部川地向場 前井 35 41 0

小湧山藤安富宮日市 福

GKB (村田) ST 31 30 0

FB (主審) FW 14MT

木口岡谷沢戸正沢谷哲内

鈴木森渡北穴吉長恵吉垣

【早大】

(関学11勝3敗)

▽第七回(6月29日西宮)

中大 20 (1010 | 2) 4 大阪齒大

(中大6勝1敗)

△第七回(9月10日国立競技場)

早大 15 (8 | 5) 10 慶大

【早大】交代長長沢(FW)

木口岡井沢戸正坂谷哲内

鈴木森五北穴吉塩恵吉垣

GKB (荒川) ST 30 35 3

FB (主審) FW 14MT

朝中本木保井藤根田川

塚本木鈴高接齊辻曾小芦

【慶大】

(慶大5勝2敗)

▽第十一回(11月12日立大)

法大 20 (1010 | 5) 11 立大

(法大6勝5敗)

▽第十三回(6月18日小石川)

明大 11 (5 | 5) 10 慶大

(明大7勝6敗)

高校の部

▽第十回全日本高校選手権

(8月1日~5日仙台市)

▽男子一回戦勝者 鎌倉学園、仙

台二高、津山商、那賀高、盈進商

▽男子二回戦勝者 鎌倉学園、石

岡一高、小倉工、三国丘高、新居

浜工、伏見高塩山高、津山商、氷

見高、神代高、北佐久農高、中京

商、熊本商、静岡農

小松実高、兵庫高

▽男子三回戦勝者

鎌倉学園、三国兵

高、新居浜工、津

山商、神代高、中京

商熊本商、兵庫高

▽男子準々決勝

鎌倉学園

三国丘高

新居浜工

津山商

中京商

八幡商

熊本商

兵庫高

▽男子準決勝

鎌倉学園 12 (6 | 5) 4 9 新居浜工

中京商 10 (3 | 7) 3 6 9 熊本商

▽決勝戦

中京商 15 (8 | 7) 8 5 13 鎌倉学園

【実藤本 田田川 山根孝野木

倉木 押神小 杉中青小鈴

【鎌青佐宮 押神小 杉中青小鈴

GKB (押神小) HB 押神小 杉中青小鈴

FW 押神小 杉中青小鈴

【山稻川 都川吉 福森近金伊

中京商 築口田 島田泰田藤

京田垣島 築口田 島田泰田藤

▽第十四回国民体育大会高校

男子の部 (10月25日~30日駒沢)

▽一回戦 鎌倉学園10-9 盈進商

熊本市立高12-6 日川高 新居浜

工20-2 函館工高

▽二回戦 神代高8-6 仙台一高

鎌倉学園高5-2 氷見高 熊本市

立高9-7 明石高 函館工不戦勝

中京商

▽準決勝

鎌倉学園 12 (6 | 6) 5 11 神代高

熊本市立 12 (6 | 6) 2 8 新居浜工

▽三位決定戦

神代高 10 (7 | 3) 6 3 9 新居浜工

(東京) (愛媛)

▽決勝戦

鎌倉学園 6 (4 | 2) 3 5 熊本市高

【崎井久 田田 市田斐垣

本島細多 松福 緒沢甲白

GKB (岡村) ST 19 0

FB (主審) FW 14MT

倉実藤田原田川山根木野木

【青仁押庵神小杉中青小鈴

▽第十回全日本高校選手権女

子の部 (8月1日~5日仙台市)

▽一回戦勝者 熊谷商、高崎女子

高

▽二回戦勝者 寝屋川高、福島女

子高、徳山高、涌谷高、栃木女子

高、半田高、新居浜東高、静岡城

北高、那賀高、彦根西高、函館東

高、水海道二高、四日市高、京都

女子高、平塚江南高、熊本市立高

▽三回戦勝者 寝屋川高、徳山高

半田高、静岡城北高、那賀高、水

海道二高、京都女子高、熊本市立

高

▽準々決勝

寝屋川高 4 (2 | 2) 1 3 徳山高

半田高 5 (3 | 1) 2 3 静岡城北

那賀高 6 (5 | 1) 2 3 北海道二

熊本市高 12 (6 | 6) 1 2 3 京都女高

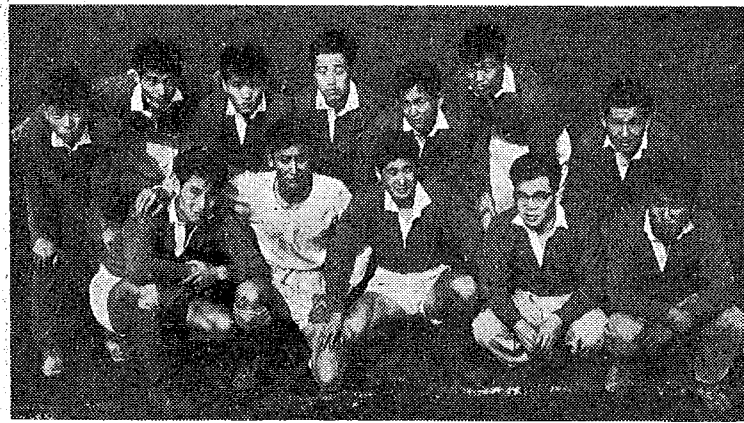
▽準決勝

寝屋川高 6 (5 | 1) 3 5 半田高

熊本市高 6 (5 | 2) 1 3 那賀高

▽決勝戦

熊本市高 6 (5 | 2) 1 3 那賀高



熊本市高 10 (7 | 3 | 2) 8 寝屋川高
 野橋水村崎亀野
 川 屋敷出清中宮尾梶
 【復】 GK B FW
 本田田永部松上村
 【早清德溝久村西】
 ▼第十四回国民体育大会高校女子の部 (10月25~30日駒沢)

▽一回戦 尼崎高8 | 3 水海道二
 高 涌谷高8 | 4 新居浜東高 明
 善高14 | 3 桜水商 有磯高不戦勝
 半田高 徳山高2 | 0 静岡城北高
 高崎市立高5 | 2 高岡高 岡山井
 原高13 | 6 函館東高 熊本市高3
 | 2 寝屋川高
 ▼二回戦 涌谷高3 | 3 尼崎高
 (涌谷抽せん勝) 福岡明善高5 |
 4 有磯高 徳山高5 | 3 高崎市立
 高 熊本市高5 | 2 井原高

▽準決勝
 涌谷高 11 (0 5 | 4 | 4)
 (宮城) 2 | 0 5 | 1 | 4
 0 | 0 5 | 1 | 4
 9 明善高 (福岡)
 熊本市高 7 (2 5 | 1 | 2)
 3 徳山高 (山口)
 ▼三位決定戦
 徳山高 11 (6 5 | 1 | 2)
 3 明善高
 ▼決勝戦
 熊本市高 7 (3 4 | 1 | 0)
 3 涌谷高

話題のム

① 大崎電気 の巻

今月紹介する東京の「大崎電気」チームはおそらく殆んどの方がその名を知らないチームでしょう。それもそのハズ、まだ誕生して一ヶ月少々。それでいて今年の全日本総合の黒馬に推してやぶさかではないと云つたら皆さんは二度ビックリなさることでしょう。実業団のハンドボールチームは「大崎電気」が始めてではなく住友化学菊本(愛媛)や三菱レヨン(広島)新三菱重工(名古屋)などが既にあり、女子では愛知紡績(愛知)と云う強豪があります。しかしおそろしくこうした既成実業団のどれよりも、「大崎電気」が強そうだと云うのはそのメンバーの顔顔によるのです。宮原、竹野、高井、村上今野……ハンドボールファンなら先刻御承知の芝浦工大、日体大のかつての精鋭がそのイレヴンの大半を占めているからです。この原稿を書いている時にも「大崎が日体大との練習試合に勝った」「東京大会で芝浦クラブを破って優勝した」と云うニュースが聞えて来ます。まっ赤なジャージに黄色の背番号と云う派手な装いをしたこのイレヴンは今年の日本のハンドボール界の話題をさらう活躍をしそうです。(写真は優勝した大崎電気)

田田永部松上村川原村野
 熊早清德溝久村西石篠西小
 【本】 GK B FW 交代(松本主審)
 尾久木遠佐伊伊中沼川入
 25 1 ST 36 0
 7 MT

女子の部

▼第十一回全日本総合選手権 (8月13日~17日熊本県水俣市)
 ▼一回戦 愛知紡績19 | 3 菊地農蚕
 高 寝屋川クラブ9 | 5 南筑高熊
 本市高14 | 1 日女体短大 水海道
 二高タ12 | 0 玉名高 熊本クラブ
 13 | 2 梅花クラブ 八条クラブ8
 | 3 水俣高 清水水子高6 | 4 尚
 綱高 日体大11 | 10 福岡明善タ
 ▼準々決勝
 愛知紡績 5 (2 3 | 1 | 0)
 2 寝屋川タ
 熊本市高 6 (2 0 0 | 4 | 1)
 0 1 0 4
 5 水海道二
 高タ
 日体大 2 (2 0 | 1 | 0)
 0 0 0
 0 清水女高
 熊本市高 19 (9 10 | 1 | 0)
 1 八条タ
 ▼準決勝
 愛知紡績 11 (2 9 | 1 | 1)
 2 2 1
 3 熊本市高
 熊本市高 13 (5 8 | 1 | 1)
 2 1 1
 3 日体大
 ▼三位決定戦
 熊本市高 6 (3 3 | 1 | 1)
 2 1 1
 3 日体大
 ▼決勝戦
 愛知紡績 8 (3 5 | 1 | 3)
 4 3 7
 熊本市高

崎本崎川田木部野山田沢
 愛野滝山瀬沢青磯里泰大金
 【知】 GK B FW 交代
 部原手上 関池崎田
 熊境 溝浦井村 今山内
 23 1 ST 22 1
 7 MT

▼第十四回国民体育大会一般の部 (10月25日~30日駒沢)
 ▼一回戦 日体大10 | 4 函館フレ
 ップ倶 涌谷高OG 5 | 4 青陵高
 OG 明善クラブ10 | 4 尼崎クラ
 プ 全埼玉7 | 4 今治西高OG
 ▼二回戦 寝屋川クラブ2 | 1 日
 体大 涌谷高OG 3 | 2 富山高O
 G 明善クラブ3 | 3 全茨城(明
 善ク抽せん勝) 全埼玉不戦勝愛知
 紡績
 ▼準決勝
 大阪寝屋 5 (2 1 | 0 | 0)
 川クラブ (3 1 | 0 | 0)
 (福岡) (福岡) 8 (3 5 | 1 | 3)
 3 5 1 2 5
 全埼玉
 ▼三位決定戦
 全埼玉 4 (3 1 | 1 | 0)
 1 涌谷高O
 G
 ▼決勝戦
 大阪寝屋 8 (6 1 | 1 | 0)
 川クラブ (2 2 | 1 | 0)
 1 福岡明善
 阪) 西口内原原西田井岡本
 大大森竹尾桑大西菅高橋 東
 【阪】 GK B FW 交代(入江主審)
 善津德藤崎尾地 仲
 【明】 大安佐宮平持
 23 0 ST 29 0
 7 MT

欄 書 投

最近のハンドボールに対する一般の関心は非常に高いものがあります。殊に、昨年のIOCで、来るべきオリンピック東京大会にハンドボールが正式種目として採り上げられると云う報が伝わってから一段と活況が呈され、我々ハンドボールを競技するものとしても大変喜ばしいことだと思つています。ところが近時、オリンピック東京大会の種目削減の声があがっていると云うニュースが耳に入るのはまことに驚きとも悲しみともつかぬ気持です。一体、こうしたニュースは本当なのでしょう。そして、実際にそうしたことが行われる可能性があるのでしょうか。

ハンドボールがスポーツとして我国に根を下ろしてから二十余年をすぎ、ようやくそのレベルも国際的にはB級の上と評価されるまでに成長したと云われます。そうしたことから云う時に、我国でオリンピック種目としてハンドボールが行われることは、一般に対する理解を求めためにも、また一般の関心を集中させるためにも、これ以上願つてもない方法はなく、万難を排して実現に向つて関係者は努力すべきであると考へます。

戦後、日本ではいろいろなスポーツが盛んになりましたが、その多くは国際試合における勝利や活躍によって、始めて世人に認められたものであり、逆から云えばスポーツの一般的感心は国際試合の

開催によって急激に芽生えたと云うことが出来ましょう。事実、ハンドボールにしても、先年、西ドイツのオールスターズが来日して、全国各地で試合することによって都会、地方を問わず新しいファンが激増したと云われるではありませんか。私自身も東京での試合で二万のファンが集つたのにはいささか驚き、大げさに云えば我が目を疑つたものです。

もし、これがオリンピックであつたら日本のハンドボールが更に多大なファンと注目を集めるかは他言を要するまでもないこととあります。それだけに、折角のチャンスを種目削減の犠牲として、不挙行になると云うことはハンドボールを愛するものにとっては骨髄がたいものがあるのです。

協会関係者はどのような（と云つても公明な）方法を採用しても、東京のオリンピック種目としてハンドボールが行われるよう最善の努力をして欲しいと切望します。それによつてどれだけ若いハンドボール選手の励みになるか知れませんが、ハンドボール界自体の発展の大礎石になると思ひます【東京・中村由起男】

諸兄姉の投稿をお待ちしています、ハンドボール界に対する建設的な意見を二千字以内でお寄せ下さい。切日は特に設けません。住所、氏名（筆名可）年令を明記して下さい。宛先は東京都千代田区神田駿河台、日本体育協会内日本ハンドボール協会編集部まで。

問 一九三六年ベルリンオリンピックではハンドボールが正式種目として行われたようですが、その時の成績をお教え下さいませんか。
(川崎市木月、多田生)

答 ベルリンオリンピック大会のハンドボールは一九三六年（昭和十一年）八月六日からオリンピック主競技場を中心に六チーム（一〇五名）が参加して行われ次のような成績でした。
予選（ベスト4選考試合）

ドイツ 22-0 ハンガリー
オーストリア 18-3 ルーマニア
ハンガリー 7-2 アメリカ
スイス 8-6 ルーマニア
ドイツ 29-1 アメリカ
オーストリア 14-3 スイス

五、六位決定戦
ルーマニア 10(6-1-0) 3 アメリカ
決勝リーグ
ドイツ 19(8-1-3) 6 ハンガリー
オーストリア 11(5-1-3) 6 スイス
ドイツ 16(7-1-3) 6 スイス
スイス 10(7-1-2) 5 ハンガリー
ドイツ 10(5-1-3) 6 オーストリア

この結果ドイツ、オーストリア、スイス、ハンガリー、ルーマニア、アメリカの順でした。

問 昭和二十三年から九回を数えた全日本学生王座が昭和三十三年から改めて第一回となつたのは何故ですか。
(東京、一高校生)

答 昭和二十三年からの学生王座は関東、関西両学生リーグの秋の一位同志の試合でしたが競技の普及とともに全国各地に地方学連が生まれ名実ともに学生王座とするために、従来の「王座戦」を発展解消して東日本学生代表と西日本学生代表の争覇と云うことに昭和三十三年から改正したものです。なお、この結果西日本代表だけは今まで通り関西学生リーグの優勝校が自動的に代表に推されていますが、東日本代表は関東リーグ、東海学連、東北北海道学連のそれぞれ秋の優勝校が総当り戦を行なつて代表を決めています。

問 日本ハンドボール協会の創立年月と初代会長は（富山 S G 生）

答 創立は昭和十三年二月。初代会長は平沼亮三氏です

読者諸兄姉の質問を歓迎します。ハンドボールに関することなら技術問題、記録なんでも結構です。宛先は住所、氏名（匿名可）、年令明記の上、ハガキで東京都千代田区神田駿河台、日本ハンドボール協会内機関誌編集部質疑応答係まで。

今、全国のハンドボール関係者とファンが身辺にある最大の関心事は、オリンピック東京大会の正式種目としてハンドボールが採りあげられるかどうかと云うことであらう。

昨年のIOC総会で一九六四年のオリンピックが大東京で開かれることに決った時、ハンドボールは採用が正式に認められていたのだが、その後、オリンピック東京大会種目削減案が起き、オリンピックに於ける実績が比較的少ないハンドボールも削減種目の候補の一つに入っていると云うニュースは少なからずハンドボール関係者にショックを与えたようである。

何故、東京大会で種目を減らさなければならぬのか。オリンピックに於いてハンドボールはそれほど実績がないのだろうか

ニュース スクラップ 新聞記事から

この欄は中央紙、地方紙を問わずスポーツジャーナリズムによって採り上げられたハンドボール関係の新聞記事を集めたいと思います。地方読者の御協力を待望しています。今月は準備不足でコレと云ったものがありませんで特例として「新刊」の御紹介を一つ……。

これについて少々筆を加えねばなるまい。東京大会で当初の案通り二十一種目のオリンピックに決められた全種目を行うことは、現状からの見通しで非常に困難な問題となつて来ている。とも角そうした事情の中で二十一種目から十八種目に種目を少なくすることは経済的にも大いに救はれる面があり、今でも真

今月の問題

採用か消滅か……

絶対な関心を寄すヨーロッパ諸国

けんに検討が加えられているのだが、いざ、減らすとなつてどの種目をと云うことになるかと簡単に決められるものではないそ

念号の風体なのだが、都道府県の歩みと云うテーマの下に寄せられた地方関係者の原稿は、これまでのハンドボール界の発展の辛苦と、現状の苦難を描いた印象的な原稿が揃い、技術書ばかりのハンドボール関係の文献の中に将来、特異な存在となりそうだと。それに編集内容も悪くない。ただ、奥付に（非売品）とあり入手がいかに難しそうなのが惜しい。

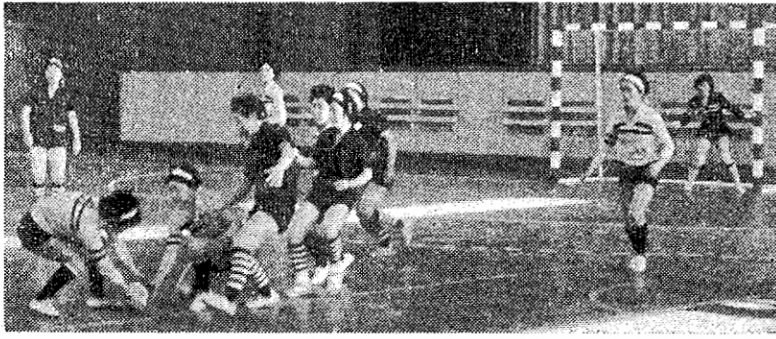
【全国高体連ハンドボール部十周年記念号】ハンドボールに関する書籍はこれまでに幾つか出されているが、どれも真面目なそして有益な技術書としては得難い内容のものであるが、この三月、全国高体連ハンドボール部が、その創立十周年を記念して刊行したこの「記念号」ほど感激的な内容のものはない。一見同人雑誌風のこの百二十三頁の「本」は、ごく当り前な記

ここで、日本に於ける普及状況やら、過去のオリンピック大会での実績を考慮して……と云うことになったのだが、そうなるハンドボールは弱い。つまり、日本国内に於ける普及状態は及第点としても、過去のオリンピック大会では一九三六年ベルリン大会で行はれてはいるにすぎず、その後は、ヘルシンキ大会の

この前歴だけではあまりにも弱く、その上、アジアでハンドボールを実施している国が少ないのも痛い。しかし、世界各国、とりわけヨーロッパ諸国の東京大会でのハンドボール開催に対する関心は大きく、種目削減案が出ていると云うニュースもいち早くこれら諸国に伝わっており、フランス、チエコなどからは、事態を心配して

開合せの電報がIOCに届けられているほどで、その関心のなみなみならぬものを感じさせている。オリンピックで競技を行うか、行はないかでは、そのスポーツの世界的評価を左右するものだけに、こうした動きが起るのも当然である。

も議論、国内関係者の開催実現への努力は続いており、式場会長、高島理事以下、協会の総力を結集して関係方面へ働きかけを行っている。現在の段階で、中立的な立場に立つてこの問題を眺めてみると、その可能性は六分程度と云えるのではないだろうか。正式な決定は、来月IOC総会で行はれるの



だが、大げさに云えば日本ハンドボール界の命運を賭けたとも云えるこの問題の実現に全国に散るハンドボール関係者とハンドボールに関心を寄せる人々の熱意ある支援が望ましい。それと、ルーマニア戦における日本チームの試合ぶりも微妙な作用をすることにならう。

協
会
だ
よ
り

担当宮崎頭一郎

するためには昭和三十三年五月末日までに(但し五月三十一日の済印のあるものは認める)登録を完了しなければなりません。この登録完了によって、始めて昭和三十五年登録チームとなり「未登録チームは如何なる大会にも出場は認めない」(協会全国理事会議事報告より抜す)規定になつていきますから全国各チームは充分注意されて手続きをして欲しいと思ひます。

個人の登録は今年も例年通り「三重登録」まで認められます。つまり同一名義が三つの異つたチームに登録記載されて差支えないわけですが、その場合には登録用紙(協会規定のもの)で本部協会、又は各都道府県協会にありますが)のA欄B欄と云う欄に必要事項を書込むことが条件となつていきます。なお大会等で

★昭和三十五年度の協会登録について今号はお知らせ致します。

今年度、協会主催の大会(例えば全日本総合選手権、全日本室内総合等)に出場

は、例え「三重登録」が認められていても、一チームからのみ出場が許可されることは云うまでもありません。すなはち、A、B、Cの三チームに登録され、その三チームが全部同一大会に出場していても、当人はA、B、C何れかの一チームにのみ選手として出場が許可されると云う意味です。不明の点は本部協会又は都道府県協会にお問合せ下さい。

都道府県協会一覧表

- 函館市時任町35 函館中部高校内
- 青森市横山町105 県立青森盲ろう学校内斎藤浩気付 (TEL 6458)
- 秋田市土手長町 秋田県教育庁保険体育課内 (TEL 秋田5521)
- 盛岡市上田 盛岡第一高校内 (TEL 2265)
- 仙台市川内 東北大学川内分校体育研空室内 (TEL 3.9620)
- 郡山市神明町140 市立郡山第二中学校内
- 富岡市七日市1500 富岡高校内 (TEL 富岡53)
- 足利市本城1の1629 足利高校内 (TEL 足利4573)
- 水戸市渡里町 茨城大学体育研究室気付 (TEL 水戸4171)
- 埼玉県浦和市下木崎皇山16 浦和西高校内
- 千葉市小仲台町824 千葉大学文理学部内
- 東京都杉並区荻窪2の100 山岡二郎気付
- 横浜市南区三春台4 関東学院高校内 (TEL 3,305)
- 富士市松本17 富士高校内 (TEL 富士871)
- 甲府市塩部町 甲府第一高校内清水正 気付
- 名古屋市中村区烏森 松蔭高校内
- 岐阜市早田 岐阜北高校内
- 三重県四日市市浜田 四日市工業高校内
- 上田市新参町 上田市教育委員会事務局社会保険課内 (TEL 上田1200)
- 高山市総曲輪 木村運動具店內
- 金沢市宮守堀通り 石川県スポーツ会館内 (TEL 3.2579)
- 彦根市西今町542 尾本和男気付 (TEL 彦根(呼)1063)
- 京都市北区小松原南町10 洛星高校内 (TEL 44 2334)
- 豊中市上野5の80 豊中高校内 (TEL 豊中3118)
- 奈良市高樋町498 森田正英気付
- 和歌山市湊 県立和歌山商業高校内山田進気付
- 神戸市兵庫区川中町43 兵庫工業高校内
- 倉敷市天城 天城高校内 (TEL 天城16)
- 呉市下山手町23 日進建設工業上田喜代治気付 (TEL 23534)
- 下関市南町 関教育委員会保健体育課内 (TEL 下関63)
- 高松市桜町830 高松第一高校内
- 高知市鴨部668 高知西高校内 (TEL 25721)
- 松山市持田町 松山東高校内 (TEL 松山64)
- 福岡市香椎町 香椎高校内 (TEL 香椎 9)
- 熊本市黒髪町坪井 済々黴高校内
- 鹿児島市天保山町18 鹿児島商業高校内 (TEL 4.73)

編集後記

▽……ハンドボール界に専門誌が一つもないのは以前から不思議でした。中学の体育として、高校、大学のスポーツとしてこれだけ親しまれ、ましてやオリンピック東京大会の正式種目にもあげられているのに不思議でした。

▽……でもそれはこれまでのハンドボール界が競技の普及と技術の向上に追われてそこまできつと手が廻らなかつたからだろうと思ひます。

▽……ともかく、こんど式場会長の絶大なる御好意と日本スポーツ新聞社の宮沢社長以下同社各位の熱意ある御支援で雑誌「ハンドボール」が生まれました。出来るだけ多くの人が読んで下さるようお願いいたします。

▽……第一号の編集は協会の宮崎頭一郎、梅原幸二、中沢重夫、安藤純光の四氏と報道陣から鷲尾武治(共同通信運動部)小川励行(デイリースポーツ東京本社) 杉山茂(NHK運動部)が当りました

▽……五月十二日に編集会議を開いて、一切を三日後の十五日に決めると云う超スピードでありながら寸暇をさいて寄稿して下さいました式場会長を始め協会関係の執筆者各位にはお礼の言葉もありません。

▽……もう一つすごく嬉しかったのはハンドボール・ライターの草分けとも云うべき共同通信社の鮎沢周二さんが特に創刊を祝って御多忙の中、寄稿して下さいましたことです。

▽……次号からは技術関係の原稿や日本ハンドボール史のようなものに加え、海外ハンドボール界の動静も充実して載せる予定です。

▽……ハンドボールが日本に生れて二十余年、二十余年間、書きたいことが溜っていたとしても云うのでしようか。あれもこれもとプランが山積して取捨選択に困るほどです。皆さんも原稿やプランをどしどし寄せて下さい(S・S)

Osaki

高性能・高確度を誇る
広範囲および精密級

積算電力計

営業品目

計器用変成器

標準用計器用変成器

誘導型自動電圧調整器

静止型自動電圧調整器

積算電力計交流試験台

配分電盤・制御盤

Sブレーカー・ノーヒューズブレーカー

配電線事故捜査器

絶縁油耐圧試験用変圧器



大崎電氣工業株式会社

本社・五反田工場 東京都品川区五反田 1-263 電話白金(441)2111(代表)
蒲田工場 東京都大田区原町 10 電話蒲田(731)4013-5, 3222

Osaki

日本ハンドボール協会公認

昭和35年度公式試合球

シムレスボール This is your Ball



TACHIKARA SPORTING GOOD'S CO.,LTD
3-8 NIHONBASHI-TORI, CHUOKU, TOKYO
TEL TOKYO (271) 3318, 3319

HAND BALL

BASKET BALL
VOLLEY BALL
SOCKER BALL
RUGBY BALL

SCEPTRE セプター

MOCHIZUKI SPORTING GOODS
MFG., Co., LTD.

6, 4-Chome, Yokokawabashi,
Sumidaku, Tokyo, Japan.

HAND BALL

斯界随一の優良品

HAND BALL
RUGBY BALL
SOCCER BALL
BASKET BALL
VOLLEY BALL

比類なき耐久力



日本ハンドボール協会公認球
“ミカドハンドボール”



Mikado
THE BEST SPORTING GOODS

OFFICIAL
HANDBALL

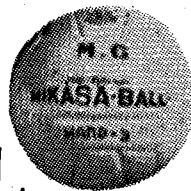
MANUFACTURES

MIKADO-SHOKAI CO.,LTD.

7-1696 SUGAMO TOSHIMAKU TOKYO JAPAN

LEATHER COVERED HAND BALL

MIKASA BALL



ミカサボール

SOLE AGENCY FOR "MIKASABALL"
MITSUYA HONSHA Co.,LTD.

PEACOCK J.H.A.

358 5CHOME, OSHIMA-CHO
KOTO-KU, TOKYO, JAPAN

MAEDA SPORTS GOODS MFG.CO.